

令和5年度

公認スポーツ指導者等表彰
受賞者名簿



公益財団法人

日本スポーツ協会

超え いけ

挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれから、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

OFFICIAL PARTNERS



・ Otsuka 大塚製薬

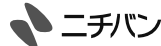


三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE

セレスポ



日本文化出版



時事通信



JP HOLDINGS 日本郵政

OFFICIAL SUPPLIERS



日本体育施設

PRTIMES



東武トップツアーズ



KEM 京都電子工業



目次

公認スポーツ指導者等表彰要項	2
----------------	---

受賞者名簿

表彰の基準第1号 指導者	4
表彰の基準第1号 スポーツドクター	23
表彰の基準第2号	27
表彰の基準第3号	39
表彰の基準第5号	39

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰要項

1. 趣旨

永年にわたりスポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、将来のスポーツ界を担う若手指導者の奨励を通じて、今後における公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資する。

2. 表彰の基準

表彰の対象は、以下の各号の基準を満たす者とし、第1号から第4号までは公認スポーツ指導者とする。

(1) 永年表彰

公認スポーツ指導者資格登録認定後、通算15年以上にわたりスポーツの指導育成及び組織化等に尽力し、顕著な功績が認められ、原則として所属する中央・都道府県・市区町村の各競技団体若しくは都道府県・市区町村体育（スポーツ）協会、又は国・地方公共団体から表彰を受けた者。ただし、過去において本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(2) 優秀選手育成賞

公認スポーツ指導者として、競技の普及や競技力の向上に尽力し、前年度に開催されたオリンピック競技大会、アジア競技大会又はこれに準じる国際大会において、優秀な成績をあげた選手を育成指導してきた者。ただし、過去において同一選手の成績に基づき本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(3) 若手指導者奨励賞

受賞年度に満30歳以下の者のうち、今後、当該推薦団体において中心的な役割を担うことが期待される者。ただし、過去において本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(4) 退任感謝状

おおむね15年以上にわたりスポーツの指導育成に貢献し、特に顕著な功績を残し退任した公認スポーツ指導者。

(5) 特別功労表彰

公認スポーツ指導者制度の確立及び発展などのために貢献し、顕著な功績があるとして本会が特に認めた者、並びに公認スポーツ指導者として特に模範となる功績を上げた者と本会が特に認めた者。

3. 候補者の推薦

候補者の推薦は、次の各号により行うものとする。

- (1) 前項第1号に定める候補者については、加盟都道府県体育（スポーツ）協会及び加盟中央競技団体、別に定める様式により推薦を行うものとする。この場合、都道府県体育（スポーツ）協会については、前年度公認スポーツ指導者登録者数500名まで1名、以下500名までを越えるごとに1名を増やした人数を、中央競技団体については、1団体3名以内を推薦することができる。

- (2) 前項第2号および第3号に定める候補者については、加盟中央競技団体が別に定める様式により推薦を行うものとする。
- (3) 前項第4号に定める候補者については、加盟団体が特に必要と認めた場合に推薦を行うものとする。
- (4) 前項第5号に定める候補者については、本会が直接推薦を行うものとする。

4. 被表彰者の決定

被表彰者は、本会会長が指導者育成委員会の審査を経て、決定するものとする。
ただし、前項第4号については、加盟団体長にその審査を委任することができる。

5. 表彰の方法

表彰の基準第1号、第2号、第4号、第5号については、本会会長が表彰状又は感謝状を授与する。
表彰の基準第3号については、本会指導者育成委員会委員長が表彰状を授与する。

6. 附則

この要項は平成7年5月16日から施行する。

この要項は平成11年3月8日から施行する。

この要項は平成19年8月22日から施行する。

この要項は公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

この要項は平成27年9月24日から施行する。

この要項は平成30年4月1日から施行する。

この要項は令和元年6月21日から施行する。

公認 スポーツ指導者等表彰受賞者名簿

【表彰の基準 第1号】指導者 149名

公認スポーツ指導者として、資格認定後15年以上にわたり、スポーツの指導育成及び組織化などに尽力し、顕著な功績が認められた方。

●都道府県体育・スポーツ協会推薦

推薦団体：公益財団法人 岩手県体育協会

氏名	横井 日出昭 (ヨコイ ヒデアキ)
資格名	アーチェリーコーチ1
主な功績	永年にわたり、岩手県アーチェリー協会理事および副理事長、滝沢市アーチェリー協会理事、会長兼事務局長を務め、アーチェリー競技の普及・発展、組織の充実に多大な貢献をした。また、現在も各種大会の運営や組織の発展に尽力しており、特に、フィールド競技の普及や指導には中心となって携わるなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	菊池 史和 (キクチ フミカズ)
資格名	ボウリングコーチ3
主な功績	永年にわたり、国民体育大会の監督を務め、数多くの入賞者を輩出し、特に第71回国民体育大会(岩手県)では、強化責任者を担うなど、ボウリング競技の普及、競技力の向上に大きく貢献した。また、地元では遠野市体育協会の評議員および理事も務め、組織の充実や発展に尽力するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	東 幸男 (ヒガシ ユキオ)
資格名	ソフトテニスコーチ3
主な功績	高等学校教員として、ソフトテニス競技の普及、競技力向上に努めるとともに、国民体育大会監督・コーチとして活躍し、第71回国民体育大会(岩手県)の好成績に貢献した。また、岩手県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部や岩手県ソフトテニス連盟理事等を務めるなど、組織の充実・発展にも貢献しており、その功績は多大である。

推薦団体：公益財団法人 宮城県スポーツ協会

氏名	佐々木 和人 (ササキ カズヒト)
資格名	弓道コーチ1
主な功績	永年にわたり、宮城県弓道連盟の運営に携わり、2000年から2007年に同連盟の常任理事、2007年から2016年に副会長、2016年より現在まで会長の職を務めている。その間に組織の運営は勿論であるが、選手強化・講習会・審査会等の行事を通して、連盟傘下の会員へ尽くした功績は誠に顕著である。
氏名	宮城 勝文 (ミヤギ カツフミ)
資格名	カヌーコーチ3
主な功績	永年にわたり、カヌー指導者として運営に携わり、1990年から1996年まで山形県カヌー協会理事、1998年から現在に至るまで宮城県カヌー協会理事を務めた。また、2014年から2017年まで宮城県体育協会理事、2018年から2019年まで宮城県スポーツ協会理事、2017年から現在に至るまで宮城県スポーツ指導者協議会委員長として協議会の運営に貢献している。特に指導者の普及育成における指導的役割は誠に顕著である。
氏名	千葉 敏明 (チバ トシアキ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、実業団バレーボールチームの監督として選手の指導・育成に携わり、9人制バレーボールの普及活動にも尽力してきた。2019年からは仙台市障害者スポーツ指導者協議会事務局長・副会長を歴任するなど、スポーツに対する高い見識を有している。また、仙台市泉区スポーツ指導者協議会の活動再開(2017年から)に際して指導的な役割を果たすとともに、現在は同副会長を務めるなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 秋田県スポーツ協会

氏名	板橋 征男（イタバシ イクオ）
資格名	ラグビーフットボールコーチ2
主な功績	1971年に男鹿市ラグビー協会を再建し、翌年には男鹿市立船川第一小学校にラグビースポーツ少年団を結成、その後約15年にわたり、男鹿市立船川中学校ラグビー部を指導し、高校ラグビーの聖地花園の舞台上で活躍する選手を多く輩出した。秋田県のお家芸であるラグビーの礎を築いた指導者である。
氏名	遠藤 正幸（エンドウ マサユキ）
資格名	バレーボールコーチ2
主な功績	永年にわたり、バレーボールの指導者として特に小学生の指導に携わっており、秋田県バレーボールの普及や強化に尽力している。また、1965年から2016年まで秋田県バレーボール協会副理事長、1965年から現在に至るまで、秋田市バレーボール協会理事長、副会長、常任顧問、1999年から現在に至るまで、秋田市スポーツ協会理事、副会長、顧問を務めており、バレーボール競技の普及、組織の発展や充実に寄与している。
氏名	高橋 和夫（タカハシ カズオ）
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	高校教員として、陸上競技の普及・競技力向上に努め、全国高等学校総合体育大会や国民体育大会において活躍する選手を数多く輩出するなど、主に高校生の指導育成に尽力している。また、秋田陸上競技協会競技部長、強化委員長、審判委員長を歴任し、秋田県陸上競技の発展に多大な貢献をしている。
氏名	佐藤 俊大（サトウ トシヒロ）
資格名	レスリングコーチ1
主な功績	1994年から約30年にわたり、高校部活動においてレスリングの指導をしており、各種全国大会で活躍する選手を数多く輩出するなど、秋田県レスリングの普及・強化に尽力している。また、秋田県レスリング協会理事、常任理事を歴任し、協会の組織発展や充実に大きく寄与している。

推薦団体：公益財団法人 山形県スポーツ協会

氏名	堀江 昭浩（ホリエ アキヒロ）
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	陸上競技コーチ3として、主に高校生の指導を継続し、卒業後も活躍できる選手の育成を心がけてきた。山形陸上競技協会強化コーチとして各種強化事業を実施し、山形県選手の跳躍種目での全国的な活躍を支えてきた功績は顕著なものがある。現在も、山形陸上競技協会副会長として、社会の変化に合わせた組織強化、選手育成、指導体制の確立、各種事業実施等に取組んでいる。
氏名	佐藤 若（サトウ ワカ）
資格名	競泳コーチ4
主な功績	1993年から山形県内の高等学校で水泳部顧問として水泳指導を行い、併せて国民体育大会強化スタッフを永年務めた。また、地域の小学校や山形県ドリムキッズにおける水泳指導、小学生対象の水泳教室の運営・指導に携わった。2021年からは、山形県水泳連盟強化医科学委員長として医科学の視点でシステムを構築するなど、組織の重要な役割を担い、その功績は誠に顕著である。
氏名	堀 豊明（ホリ トヨアキ）
資格名	ソフトボールコーチ1
主な功績	永年、酒田ソフトボールクラブの選手・指導者として活動してきた。2007年にはソフトボールコーチ1資格を取得し、自チームのみならず、酒田市全体のソフトボール普及にも尽力してきた。2018年からは、飽海地区ソフトボール協会副会長として、飽海地区全域のソフトボール競技の普及発展にも務めている。
氏名	工藤 一男（クドウ イチオ）
資格名	剣道コーチ2
主な功績	1982年に西郷剣道スポーツ少年団を設立し、代表指導者として小中学生に剣道を通じ少年少女の健全育成に努めるとともに、指導者の育成にも力を注いでいる。2005年から10年間、中学部活動外部コーチも勤め、山形県大会等で上位入賞に導いた。成長した多くの西郷スポーツ少年団員は、現在、地域の中核となり多方面で活躍している。また、ボランティア活動に積極的に取り組み、稽古場である体育館の環境美化活動を毎年実施している。

氏名	高橋 政美 (タカハシ マサミ)
資格名	グラウンド・ゴルフコーチ1
主な功績	2006年から永年にわたり、グラウンド・ゴルフコーチ1として、グラウンド・ゴルフ競技の普及および指導に携わってきた。1994年には、村山市グラウンド・ゴルフ協会の設立に尽力した。2004年から10年間、日本グラウンド・ゴルフ協会の委員会に所属し全国的にも関わってきた。また、2009年から2021年まで、山形県スポーツ協会の理事を務め、山形県スポーツ振興への功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 栃木県スポーツ協会

氏名	鮎田 健司 (フナダ ケンジ)
資格名	ソフトテニスコーチ3、アシスタントマネジャー
主な功績	1992年から小学・中学・高校生を対象にソフトテニスの指導に携わっている。2004年にソフトテニスコーチ3、2011年にアシスタントマネジャー資格を取得した後、2009年から栃木県ソフトテニス連盟の理事、2017年からは理事長として連盟の運営に携わっており、その功績は誠に顕著である。
氏名	栗原 浩司 (クリハラ コウジ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	第24回オリンピック競技大会(ソウル/1988年)に短距離選手として出場するなど、自らも日本のトップアスリートであり、その経験を生かし、青少年を中心に多くの選手の強化育成に携わった。栃木陸上競技協会の強化委員長を永年務め、国民体育大会を中心にその手腕を発揮した。選手を育成強化する意識が高く、科学的な根拠を基にしたその熱心な指導は、誰からも一目置かれる存在で定評があり、その功績は誠に顕著である。
氏名	小野 武伸 (オノ タケノブ)
資格名	ダンススポーツコーチ3
主な功績	2013年から栃木県ダンススポーツ連盟の会長を務め、栃木県内におけるダンススポーツ競技の普及発展、競技力向上に取り組んでいる。毎年1回開催する指導員講習会には講師として後進の育成に尽力している。第27回全国健康福祉祭とちぎ大会(ねんりんピック栃木2014)および第77回国民体育大会(栃木県)のダンススポーツ部門競技大会の会長として大会を成功させるなど、功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 群馬県スポーツ協会

氏名	小松 秀司 (コマツ ヒデジ)
資格名	スケートコーチ4
主な功績	永年、群馬県スケート連盟強化コーチとして渋川伊香保地区でスピードスケート指導に務め、オリンピック競技大会出場選手、全国大会優勝および入賞選手を輩出したほか、群馬県のスピードスケート国民体育大会監督として県選手団の活躍に貢献した功績は、誠に顕著である。
氏名	安藤 学 (アンドウ マナブ)
資格名	水泳コーチ1
主な功績	1997年から群馬県水泳連盟の競技力向上に尽力するとともに、永きにわたり、地域指導者委員として水泳指導員検定および水泳指導員義務研修のサポートをする等、活動を続けてきた。現在は、群馬県水泳連盟理事長として水泳指導員の養成と充実を図り、指導者の資質、技術の向上、水泳の普及と発展に努め、多くの指導者を養成している。
氏名	澤野 聡 (サワノ サトシ)
資格名	ボクシングコーチ3
主な功績	群馬県ボクシング連盟の常任理事を務め、永年、群馬県のボクシング競技の強化に携わっている。国民体育大会には、選手としても監督としても参加した経験がある。また、ボクシング公認審判員A級の資格を有しており、全国大会等の審判員としても活躍している。これらの功績は誠に顕著である。
氏名	高橋 伸次 (タカハシ シンジ)
資格名	ソフトボールコーチ3
主な功績	1988年から現在まで群馬県ソフトボール協会理事、関東学生ソフトボール連盟理事、東日本大学ソフトボール連盟理事を務めている。また、1996年から現在まで全日本大学ソフトボール連盟理事を務め、2010年4月から2016年6月まで日本ソフトボール協会理事を務めた。1988年から現在まで大学生を指導し、関東・全国大会で実績を残すなど、多くの選手、後進の育成に尽力し、その功績は誠に顕著である。

氏名	鈴木 康弘 (スズキ ヤスヒロ)
資格名	弓道コーチ3
主な功績	群馬県弓道連盟の副会長および会長在任時に、スポーツ指導員養成講習会を実施し、多くの有資格者の養成に努めた。また、全日本弓道連盟の中央委員として、全国各地の審査委員、講習会講師を務めている。現在は、群馬県弓道連盟名誉会長、称号者部会長を務めており、これらの功績は誠に顕著である。
氏名	山口 和男 (ヤマグチ カズオ)
資格名	ラグビーフットボールコーチ1
主な功績	1976年に桐生市においてクラブチームを立上げ、1993年には群馬銀行ラグビー部を創設し初代監督に就任した。1982年には関東ラグビー協会公認審判員、1997年にはラグビーフットボールコーチ1を取得した。第38回国民体育大会(群馬県)において審判役員として参加し、1998年から群馬県ラグビーフットボール協会の理事を務め、2007年から同協会の理事長として普及育成・競技力向上に貢献した。
氏名	新井 法正 (アライ ノリマサ)
資格名	空手道コーチ4
主な功績	1988年から地域の小中学生を中心に空手道の指導を始め、全国中学生空手道選手権大会において優勝2回、準優勝4回、関東中学生空手道選手権大会において優勝5回など多くの優秀選手を輩出した。1989年から1994年まで国民体育大会空手道競技の監督を務めた。現在は、富岡市空手道連盟会長、群馬県空手道連盟副理事長として後進の育成に尽力し、群馬県の競技力向上への功績は顕著である。
氏名	歩行田 弘 (カチタ ヒロシ)
資格名	トライアスロンコーチ1
主な功績	1998年から2012年まで、群馬県トライアスロン協会の理事・幹事を歴任し運営に携わった。また、インドアトライアスロン大会を企画・立上げ、普及と指導を行った。2005年には、伊勢崎市トライアスロン協会の組織化に尽力した。その後、会長として指導および協会の運営してきた。永年にわたり、トライアスロンの普及と発展に寄与し、その功績は顕著である。
氏名	須田 浩子 (スダ ヒロコ)
資格名	エアロビックコーチ1
主な功績	2009年から現在まで群馬県エアロビック連盟の理事を務め、同連盟発展のために尽力した。また、エアロビックC級指導員(現エアロビックコーチ1)として、永年にわたり、地域の子どもから高齢者を指導し、指導者の養成に携わり、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 埼玉県スポーツ協会

氏名	山下 晴海 (ヤマシタ ハルミ)
資格名	ソフトテニスコーチ3
主な功績	永年にわたり、埼玉県ソフトテニス連盟理事長として、指導者の育成・養成に尽力し、埼玉県ソフトテニススポーツ指導者協議会の充実・発展を図った。その功績は多大である。
氏名	山下 研二 (ヤマシタ ケンジ)
資格名	ソフトテニスコーチ3
主な功績	永年にわたり、埼玉県内の高校生への指導に尽力している。埼玉県ソフトテニス連盟の競技者育成プログラム委員会委員として、競技力向上にも尽力している。また、永年の指導経験を後輩育成に活かし、指導者養成・育成に尽力した。その功績は多大である。
氏名	高橋 正郎 (タカハシ マサオ)
資格名	卓球コーチ3
主な功績	永年にわたり、埼玉県卓球協会の役員として各種大会(関東・全国等)の準備、運営に携わり、その功績は多大である。また、国民体育大会の監督としても実績を残し、埼玉県のスポーツ振興、後輩の育成にも貢献してきた。埼玉県卓球指導者協議部へは、埼玉県卓球協会の役員として企画、運営を支援し、埼玉県内の指導者の育成に尽力してきた。
氏名	西島 陽子 (ニシジマ ヨウコ)
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	1995年に入間市なぎなた連盟を設立し、一般会員・スポーツ少年団・中学生高校生と幅広い年代の指導にあたり、全国大会に出場する選手を育成し、入賞も果たした。また、埼玉県なぎなた連盟の常任理事として、事業運営に尽力しており、その功績は多大である。

氏名	梶原 光子 (カジワラ ミツコ)
資格名	体操競技コーチ3
主な功績	2004年から所沢市スポーツ指導者協議会に在籍し、現在に至るまで19年間、会計として会の運営発展に寄与している。また、所沢市健康体操連盟の会長として健康体操を中高年者に22年間指導し、普及・促進をしてきた。これらの功績は多大である。

推薦団体：公益財団法人 千葉県スポーツ協会

氏名	山本 芳子 (ヤマモト ヨシコ)
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	永年にわたり、地域におけるなぎなたの技術指導を活発に行い、柏市なぎなた連盟主催の金曜日教室や柏四小教室を開設するなど、青少年の育成、並びになぎなたの普及・発展に尽力している。また、千葉県なぎなた連盟の理事として組織の充実・発展および千葉県内のスポーツ振興に貢献するなど、その功績は多大なものである。

氏名	寺沢 正昭 (テラサワ マサアキ)
資格名	バスケットボールコーチ1、スポーツプログラマー
主な功績	永年にわたり、千葉市における社会人を対象としたバスケットボールの指導に携わり、バスケットボール競技の普及に貢献してきた。また、千葉市バスケットボール協会の常任委員として組織の充実・発展に尽力するとともに、バスケットボールの技術向上、発展にも尽力するなど、その功績は多大なものである。

氏名	松本 衣江 (マツモト キヌエ)
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	永年にわたり、木更津市なぎなた連盟のなぎなた指導者として青少年の健全育成に尽力するとともに、2010年から現在に至るまで、木更津市なぎなた連盟の事務局長として組織の充実・発展に貢献している。また、2012年から2020年まで千葉県なぎなた連盟会計を務め、組織の運営に携わるなど、その功績は多大なものである。

氏名	加藤 道子 (カトウ ミチコ)
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	永年にわたり、市原市ソフトテニス協会の副理事長などの要職を務め、組織の充実・発展に貢献している。また、市民スポーツ教室の講師を務め、ソフトテニス競技の普及・振興活動に尽力するとともに、千葉県民体育大会市原市女子チームのコーチとして競技力向上にも多大な貢献をするなど、その功績は誠に顕著である。

氏名	鈴木 喜太郎 (スズキ キタロウ)
資格名	ソフトボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、鴨川市におけるソフトボール競技の普及・発展に貢献している。また、鴨川市スポーツ協会のソフトボール部副部長として、近隣市町との交流大会運営の事務統括として尽力している。近年は、鴨川市内の少年ソフトボールの競技力向上を目的とした指導者育成にも大きく貢献しており、その功績は誠に顕著である。

氏名	伊藤 英子 (イトウ エイコ)
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	永年にわたり、我孫子市なぎなた連盟の運営に携わり、なぎなたの普及活動および会員への指導に尽力している。2004年から2019年まで、我孫子市内の幼稚園で行われているなぎなた教室において、実技指導および発表会実施の中心的役割を果たすなど、我孫子市スポーツ協会事業にも積極的に参画しており、その功績は多大なものである。

氏名	巢永 緑 (スナガ ミドリ)
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	永年にわたり、我孫子市なぎなた連盟の運営に携わり、なぎなたの普及活動および会員への指導に務めるとともに、我孫子市スポーツ協会事業にも尽力している。2002年から2011年まで我孫子市なぎなたクラブ、2016年から2019年まで我孫子市内の幼稚園で行われているなぎなた教室での指導に貢献するなど、その功績は誠に顕著である。

氏名	大矢 知良 (オオヤ トモヨシ)
資格名	スポーツプログラマー
主な功績	永年にわたり、成田市陸上競技協会事務局長、千葉県社会体育公認指導員(現生涯スポーツ公認指導員)および行政職員として生涯スポーツの観点から陸上競技の振興に尽力してきた。また、グラウンドゴルフ、インディアカ、ユニカールなど、子どもから高齢者まで楽しめるスポーツの普及・指導に貢献するなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 東京都体育協会

氏名	下山 良成 (シモヤマ ヨシナリ)
資格名	陸上競技コーチ4
主な功績	永年、東京陸上競技協会でも普及強化委員会副委員長、委員長を歴任し、都国体代表選手および所属校から数々の優秀選手を輩出し、選手育成指導に努めている。2009年からは同協会理事として組織運営に携わり、2023年から理事長を務めている。また、日本陸上競技連盟の指導者養成委員会委員に14年間携わり、ジュニア選手の指導育成、公認指導者の養成に務めるなど、その功績は誠に顕著である。

氏名	小林 隆雄 (コバヤシ タカオ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	東京陸上競技協会の普及強化委員会委員として国民体育大会男子監督を6年務める他、所属高校では全国高等学校総合体育大会での総合優勝や卒業生からオリンピックを輩出するなど、選手育成強化に努めている。また、日本陸上競技連盟強化委員会投擲主任を永く務め、多くの投擲選手の育成指導にあたるなど、その功績は誠に顕著である。

氏名	細野 茂之 (ホソノ シゲユキ)
資格名	馬術コーチ3
主な功績	1997年から現在まで、東京都馬術連盟の強化担当理事としてジュニア選手の育成・指導や地域での乗馬の普及に尽力している。特に、第69回国民体育大会(長崎県)および第70回国民体育大会(和歌山県)では監督を務め馬術競技で優勝するなど、その功績は誠に顕著である。オリンピックとして活躍後、日本オリンピック委員会強化スタッフ、日本代表監督等も歴任するなど、競技力強化に加え、馬術競技の普及発展にも尽力している。

氏名	岩渕 公一 (イワブチ コウイチ)
資格名	柔道コーチ4
主な功績	永年、東京都柔道連盟の理事・常任理事を務め、大会事業の運営に携わると共に、競技力向上委員会委員長として選手強化・育成に携わった。第77回国民体育大会(栃木県)柔道競技会では、女子と少年男子が優勝し、男女総合成績第1位を獲得するなど、その功績は誠に顕著である。また、国際大会で活躍する選手を育成するなど、指導者としての手腕も優れている。

氏名	今井 潔 (イマイ キヨシ)
資格名	空手道コーチ4
主な功績	永年にわたり、審判講習会の講師や昇段審査会の審査員を歴任するなど、東京都空手道連盟の審判員や指導員の育成・指導に尽力してきた。2007年に理事・経理部長に就任以来、財政面からの健全運営に積極的に取り組んでいる。さらには、2021年に専務理事、2023年に副会長となり、運営基盤となる会員増強に力点を置き、新規事業の立ち上げによる運営の活性化に取り組むなど、組織活動に対する功績は大である。

氏名	松浦 恭寿 (マツウラ キョウジュ)
資格名	バスケットボールコーチ1
主な功績	永年、小金井ミニバスケットボールクラブにて勝敗だけでなく、他チームの模範となる態度や振る舞いを指導し実践することで、東京都内外で名を馳せた。また、団員の指導だけでなく、日本バスケットボール協会公認B級審判として審判の指導に携わり、バスケットボールおよび青少年スポーツの発展に貢献し、その功績は顕著である。

氏名	堀 政代 (ホリ マサヨ)
資格名	水泳コーチ2
主な功績	1988年から永年にわたり、地域の水泳指導に携わって来た。2001年から2020年の間には、国立市体育協会の理事として開催行事の運営に積極的に参画した。また、国立市が開催する「水泳教室」や「講習会」では、指導者として積極的に行事を牽引した功績は誠に大である。

推薦団体：公益財団法人 神奈川県スポーツ協会

氏名	伊藤 靖雄（イトウ ヤスオ）
資格名	山岳コーチ2
主な功績	永年、藤沢市山岳・スポーツクライミング協会および神奈川県山岳連盟の役員を務め、生涯スポーツとしての登山の普及と啓発に携わってきた。また、イギリスの登山資格についての知識を生かし、日本山岳・スポーツクライミング協会の指導委員会では新しい登山資格制度「夏山リーダー資格」づくりに携わり、一般の登山者が段階的に学ぶ基礎を作った。その功績は誠に顕著である。
氏名	谷口 浩平（タニグチ コウヘイ）
資格名	山岳コーチ2
主な功績	永年、藤沢翔陵高等学校の山岳部顧問として指導に携わっている。神奈川県高等学校体育連盟登山専門部の常任委員、全国高等学校体育連盟登山専門部の副委員長、審査委員長、事務局長も務めた。また、日本山岳・スポーツクライミング協会の常務理事、登山普及委員会委員長も務めており、その功績は誠に顕著である。
氏名	高野 厚子（タカノ アツコ）
資格名	水泳コーチ2
主な功績	30年にわたり、伊勢原市水泳協会およびスイミングスクールで水泳指導に関わってきた。2002年から現在に至る22年間に、神奈川県スポーツ協会主催の水泳教室指導者として尽力し、神奈川県の水泳普及に貢献している。
氏名	太田 えみ子（オオタ エミコ）
資格名	バドミントンコーチ1
主な功績	2003年から現在に至るまで、約20年にわたり横浜市青葉区のバドミントン教室では多くの参加者を指導・育成し、指導者として活躍している。また、青葉区レディース連盟の理事を務め、バドミントン競技の普及に大きく貢献した。丁寧な指導、高い技術、リーダーシップなど参加者や他の指導者からの多大な信頼と尊敬が寄せられ、その功績は誠に顕著である。
氏名	曲木 絵里（マガキ エリ）
資格名	体操コーチ2
主な功績	神奈川県および川崎市スポーツ協議会において、総務関連理事を永年務め、その高い指導性を以て同協議会の発展に貢献した。スポーツの底辺拡大ではスポーツ教室を主宰し幼児から高齢者への健康体操を継続し、若手指導者への指導も積極的に行っている。これらの活動はスポーツ指導者の範であり、更なるスポーツの発展に多大な影響を与える人財である。その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 山梨県スポーツ協会

氏名	高村 高夫（タカムラ タカオ）
資格名	スポーツプログラマー、アシスタントマネジャー
主な功績	永年にわたり、南都留地域においてスポーツ少年団活動やスケート競技の推進・発展に尽力している。2018年から山梨県スポーツ指導者協議会理事および南都留支部副支部長を務め、地域におけるスポーツ振興の功績は顕著である。
氏名	大澤 賢司（オオサワ ケンジ）
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	2007年にバレーボールコーチ1を取得し、2003年から2017年まで、スポーツ少年団や御坂町体育協会におけるバレーボール競技の推進・発展に尽力した。2022年から現在に至るまで、山梨県スポーツ指導者協議会理事および笛吹支部副支部長を務め、地域におけるスポーツ振興の功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 長野県スポーツ協会

氏名	松田 千眞男（マツダ チマオ）
資格名	銃剣道コーチ1
主な功績	1992年から長野県銃剣道連盟に所属し、2002年まで監督兼選手として競技力向上に貢献した。1996年の全日本銃剣道選手権大会において3位入賞、第55回国民体育大会（富山県）銃剣道競技会において7位入賞を果たした。2008年から長野県銃剣道連盟副理事長、2020年から長野県銃剣道連盟理事長として運営に携わる傍ら、小学生・中学生の銃剣道指導に携わり、その功績は誠に顕著である。

氏名	北原 三代志 (キタハラ ミヨシ)
資格名	陸上競技コーチ4
主な功績	長野陸上競技協会の普及強化コーチとして競技力向上に努め、長野県における国民体育大会総合成績の向上にも貢献した。また、勤務校において2000年には全国高等学校総合体育大会陸上競技大会・日本ジュニア陸上競技選手権大会(三段跳)で優勝する選手を輩出し、2006年には高校優秀指導者章(平沼亮三章)を受賞した。永年にわたり、長野陸上競技協会の施設用器具委員長および日本陸上競技連盟の検定員を務め、陸上競技場の検定や整備に携わった。その功績は誠に顕著である。
氏名	掛川 和彦 (カケガワ カズヒコ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	2001年から14年間にわたり、国民体育大会監督(陸上競技)として競技力向上に努め、長野県における国民大会総合成績の向上に貢献した。また、勤務校において第45回国民体育大会(福岡県)少年男子走高跳3位に入賞する選手を輩出し、2005年には高校優秀指導者章(平沼亮三章)を受賞した。永年にわたり、長野陸上競技協会の強化部長・理事を務め協会の運営に携わった。その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 新潟県スポーツ協会

氏名	泉田 俊幸 (イズミダ トシユキ)
資格名	陸上競技コーチ4
主な功績	永年にわたり、新潟陸上競技協会の強化部委員および部長に携わり、選手の育成・強化に情熱を注ぎ、新潟県の陸上競技力向上に尽力した。高等学校陸上部顧問時代には、9名15回の全国入賞者を輩出するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	小黒 成一 (オグロ シゲカズ)
資格名	陸上競技コーチ4
主な功績	永年にわたり、新潟陸上競技協会の理事を務め、新潟県陸上競技の普及・強化に尽力した。特に、中学生への選手の育成・強化に情熱を注ぎ、新潟県の競技力向上に貢献した。2015年から2020年には、日本中学校体育連盟理事を務めるなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	大平 真 (オオダイラ マコト)
資格名	ジュニアスポーツ指導員
主な功績	永年にわたり、スキーの指導者として小学生への運動指導および普及活動に尽力した。特に、ジュニアスキー選手の底辺拡大に尽力した。また、2009年から障がい者施設におけるフライングディスク指導に携わり、スポーツの楽しさや動きづくりを周知するなど、スポーツ推進に尽力した。その功績は誠に顕著である。
氏名	栃倉 由紀 (トチクラ ユキ)
資格名	ジュニアスポーツ指導員、スポーツプログラマー
主な功績	2008年からフィットネスサークルユウキの職員として地域住民の健康運動指導に携わり、地域住民の健康増進に寄与した。また、2012年から長岡市健康・体力づくり指導者会、長岡市スポーツ協会公認指導者として、地域未満児や小学校低学年の運動指導にも携わり、子どもの育成運動能力向上に寄与した。その功績は誠に顕著である。
氏名	室賀 大樹 (ムロガ ダイキ)
資格名	ジュニアスポーツ指導員、アシスタントマネジャー
主な功績	1999年から長岡市スポーツ協会の職員として協会運営に携わり、低学年以下の子どもたちへの運動あそびやコーディネーショントレーニングの指導を通して、子どもの育成、運動能力向上に寄与した。また、少年柔道指導者として、現在も長岡蒼柴スポーツクラブ柔道を指導し、長岡市内小中学生への柔道の普及や強化に尽力した。その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 富山県スポーツ協会

氏名	中島 安興 (ナカシマ ヤスオキ)
資格名	トライアスロンコーチ1
主な功績	永年にわたり、日本トライアスロン協会理事、富山県トライアスロン協会理事長等を務め、トライアスロン競技の普及発展および競技力強化に積極的に取り組み、組織運営に貢献した。また、富山県内競技選手の育成指導・競技力強化に携わるなど、トライアスロン競技の普及発展および競技力強化に尽力した功績は誠に顕著である。

氏名	笹山 治一 (ササヤマ ハルカズ)
資格名	ダンススポーツコーチ3
主な功績	永年にわたり、富山県ダンススポーツ連盟会長を務め、ダンススポーツ競技の普及発展および競技力強化に積極的に取り組み、組織運営に貢献した。また、地域の施設等においてジュニアから高齢者まで幅広い層を対象にした育成指導や選手の競技力強化に携わるなど、富山県におけるダンススポーツ競技の普及発展および競技力強化に尽力した功績は誠に顕著である。
氏名	中川 隆司 (ナカガワ タカシ)
資格名	軟式野球コーチ3、スポーツプログラマー
主な功績	永年にわたり、富山野球協会常任理事等を務め、軟式競技の普及発展および競技力強化に積極的に取り組み、組織運営に貢献した。また、地域の学校・施設等においてジュニア層を対象にした育成指導や競技力強化に携わるなど、富山県における軟式野球競技の普及発展および競技力強化に尽力した功績は誠に顕著である。
氏名	宮田 文春 (ミヤタ フミハル)
資格名	銃剣道コーチ1
主な功績	永年にわたり、富山県銃剣道連盟理事等を務め、銃剣道競技の普及発展および競技力強化に積極的に取り組み、組織運営に貢献した。また、国民体育大会銃剣道競技成年男子、少年男子の監督を務めるとともに、地域において選手の育成指導・競技力強化に携わるなど、富山県における銃剣道競技の普及発展および競技力強化に尽力した功績は誠に顕著である。
氏名	岡島 幸子 (オカジマ サチコ)
資格名	クラブマネジャー
主な功績	永年にわたり、スポーツクラブマネジャーとして、富山県内総合型地域スポーツクラブにてクラブの運営や教室指導に携わり、地域のスポーツの推進に貢献した。また、地域の施設等において障がい者に対し、サッカー指導や大会の企画運営に携わるなど、障がい者スポーツの普及発展にも尽力した功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 石川県スポーツ協会

氏名	水橋 美喜夫 (ミズハシ ミキオ)
資格名	弓道コーチ2
主な功績	2006年に日本体育協会（現日本スポーツ協会）主催である石川県体育協会（現石川県スポーツ協会）の上級指導員（現弓道コーチ2）養成講習会を開催し、運営責任者として取りまとめ、計28名の上級指導員（現弓道コーチ2）が誕生した。その後石川県内で4回、石川県外でも4回の指導員（現コーチ1）養成講習会で講師を務め、延べ343名の公認スポーツ指導員の誕生に貢献した功績は、大なるものがある。また、指導員を対象としたフォローアップ講習会を企画実施して、スポーツ指導者としての知識の研鑽にも尽力している。
氏名	上登 正人 (ジョウト マサト)
資格名	剣道コーチ1
主な功績	永年、石川県剣道連盟理事を務め、剣道の普及振興に尽力した。また、地元川北町において永年、小学生・中学生の指導育成に取り組んでいるほか、自らも稽古に日々精進している。また深甚流形を継承し、後進の指導に当たっており、その功績は顕著である。
氏名	堀 秀次 (ホリ シュウジ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	1989年から野々市市女子バレーボールチームの指導を皮切りに、現在まで、指導者として若年層の指導・育成に永年携わっている。また、石川県バレーボール協会の運営に常任理事として携わるほか、審判委員長を永年務めるなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	山岸 修 (ヤマギシ オサム)
資格名	ジュニアスポーツ指導員、コーチングアシスタント
主な功績	1987年から現在に至るまで、石川県能登町のスポーツ少年団の指導者として、バドミントンの指導を通して青少年の健全育成に携わっている。また、バドミントン競技の各種大会を企画運営し、石川県奥能登地区のバドミントン競技の発展に尽力した。

推薦団体：公益財団法人 福井県スポーツ協会

氏名	田中 秀昭 (タナカ ヒデアキ)
資格名	ハンドボールコーチ1
主な功績	1991年から現在に至るまで、実業団やジュニアクラブなど、幅広くハンドボールの指導を行っている。また、1998年から2019年に日本ハンドボールリーグ機構の運営委員・部長・副委員長・アドバイザー、2013年から2019年に福井県ハンドボール協会の常務理事を務め、福井県のみならず日本のハンドボール競技の発展に貢献している。
氏名	田中 敏彦 (タナカ トシヒコ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	1981年から2016年まで高校生を中心にバレーボールの指導を行ってきた。2003年から現在に至るまで、福井県バレーボール協会の強化委員長・副理事長・強化本部長を歴任し、2019年からは、福井県バレーボール協会一般女子強化チームの監督を務め、競技力向上に尽力するなど、福井県バレーボール協会の発展に貢献した。
氏名	三上 克典 (ミカミ カツノリ)
資格名	ホッケーコーチ3、アシスタントマネジャー
主な功績	1988年から2020年まで、高校生を中心にホッケーの指導を行ってきた。また、1988年から2018年まで福井県ホッケー協会の常任理事を務め、福井県ホッケー協会の発展に貢献した。また、2012年から2020年まで福井県スポーツ指導者協議会の理事、2021年から現在に至るまで副会長を務め指導者育成に尽力している。
氏名	川崎 純子 (カワサキ ジュンコ)
資格名	体操競技コーチ3
主な功績	1981年から2020年まで高校生を中心に体操競技の指導に携わった。2014年に開催された全国高等学校総合体育大会では、鯖江高等学校の初優勝を支えた。1986年から現在に至るまで、福井県体操協会の常務理事を務め、協会の発展に尽力した。現在も福井県内の各種大会の運営に携わり、福井県の体操競技を支えている。
氏名	島崎 智絵 (シマサキ トモエ)
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	1992年から現在に至るまで、福井県立武道館の講師を務め、2016年からは高校生を対象に指導を行っている。また、2014年から全日本学生なぎなた連盟の理事、2019年から現在に至るまで、福井県なぎなた連盟の副理事長を務め、福井県のみならず、全日本学生連盟の発展にも尽力している。
氏名	春岡 大二郎 (ハルオカ ダイジロウ)
資格名	競泳コーチ4、水泳教師
主な功績	1997年から現在に至るまで小学生、中学生、高校生など幅広く水泳の指導を行っている。また、福井県の強化指定選手の指導を行い競技力の向上に尽力している。2006年から2022年まで、福井県水泳連盟の理事、2006年から現在に至るまで、福井県水泳連盟のシステム委員長を務め、福井県水泳連盟の運営に貢献している。

推薦団体：公益財団法人 愛知県スポーツ協会

氏名	澤田 須美子 (サワダ スミコ)
資格名	卓球コーチ1、ジュニアスポーツ指導員
主な功績	20年以上にわたり、半田市卓球協会理事を務め、組織の充実と発展のため、卓球大会の企画・運営に尽力した。地域の指導者として地域住民が卓球に親しめる環境づくりに取り組み、スポーツ振興に多大な貢献をした。その功績は誠に顕著である。
氏名	鈴木 貴哉 (スズキ タカヤ)
資格名	バスケットボールコーチ1
主な功績	愛知県バスケットボール協会理事、愛知女性バスケットボール連盟理事、さらに半田市バスケットボール協会の理事として運営に貢献した。永年、指導者としてママさんバスケや地域の子供たちへの指導に携わっている。バスケットボールの審判員としても活躍しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	金子 恵一 (カネコ ケイイチ)
資格名	柔道コーチ3
主な功績	愛知県柔道連盟の常任理事および副会長を務め、全日本柔道連盟公認指導者資格Aを取得し、2015年度から柔道指導者養成講習会に携わった。また、1981年4月から42年間高校教諭として授業および部活動で柔道の指導に携わってきた。その功績は誠に顕著である。

氏名	竹内 香緒利 (タケウチ カオリ)
資格名	弓道コーチ2
主な功績	2015年から愛知県弓道連盟理事、2021年から愛知県スポーツ協会理事を務め、愛知県内のスポーツ振興に貢献した。名古屋市弓道協会や大学にて指導員として現場での技術指導を行い、地域の競技力向上に尽力した。また、愛知県スポーツ指導者連絡協議会理事として愛知県内のスポーツ指導者の資質向上に寄与した功績は顕著である。
氏名	若林 弘子 (ワカバヤシ ヒロコ)
資格名	体操コーチ2
主な功績	永年にわたり、幼児期から高齢者まで多くの方に体操やダンスを指導し、スポーツ振興に尽力をした。また、愛知県スポーツ指導者連絡協議会理事を務めており、愛知県内のスポーツ指導者の資質向上に寄与した功績は多大である。
氏名	佐藤 丈能 (サトウ タケヨシ)
資格名	アスレティックトレーナー
主な功績	永年にわたり、アスレティックトレーナーとして、陸上競技選手を中心にコンディショニングや競技力向上に関わる支援を行っている。また、愛知県アスレティックトレーナー連絡協議会の活動を通じて、スポーツの指導もしており、愛知県のスポーツ界において果たした功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 三重県スポーツ協会

氏名	沢 勝弘 (サワ カツヒロ)
資格名	ソフトボールコーチ1
主な功績	永年、三重県ソフトボール協会指導者委員長を務め、多くの指導者の発掘育成に尽力した。総合型地域スポーツクラブ事業の野球スクールでは指導者として活躍した。現在まで明和町体育協会会長を務め、スポーツ推進に務めている。その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 岐阜県スポーツ協会

氏名	村瀬 登使文 (ムラセ トシフミ)
資格名	バレーボールコーチ1、アシスタントマネジャー
主な功績	永年にわたり、岐阜県体育協会（現岐阜県スポーツ協会）、岐阜県バレーボール協会、東海バレーボール連盟の役職を務め、現在は日本バレーボール協会評議員である。指導者として、第41回国民体育大会（山梨県）、第45回国民体育大会（福岡県）において第3位という優秀な成績を収めた。岐阜県バレーボール協会を始め関係団体の組織発展や指導者・指導者育成等へも積極的に携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	鷺見 明俊 (スミ アキトシ)
資格名	バレーボールコーチ2、ジュニアスポーツ指導員、アシスタントマネジャー
主な功績	永年にわたり、スポーツ推進委員（旧・体育指導委員）として様々なスポーツの指導に従事している。同時に、山県市体育協会の理事長、山県市スポーツ少年団の副本部長を永年務め、2011年に岐阜県体育協会（現岐阜県スポーツ協会）からスポーツ功労賞を受賞した。また、市内のスポーツ関係団体の組織発展や指導者育成等へも積極的に携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	橋本 臣治 (ハシモト シンジ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、岐阜県バレーボール協会、東海ビーチバレーボール連盟の役職を務め、現在は岐阜県バレーボール協会副理事長兼事務局長である。指導者としては、1986年からJAぎふ女子バレーボールを指導し、また監督として、第64回国民体育大会（新潟県）において第7位という優秀な成績を収めた。岐阜県バレーボール協会を始め関係団体の組織発展に携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	深尾 敏夫 (フカオ トシオ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、岐阜県バレーボール協会、東海バレーボール連盟、日本バレーボール協会の役員を務めている。この間、バレーボールの指導者として活躍し、岐阜県バレーボール協会審判委員会の委員長として、組織発展や上級審判員育成へ積極的に携わり、多くの国際審判員・A級審判員を育成した。特に第67回国民体育大会（岐阜県）においては、これまで育成した上級審判員とともに、審判長として大会を成功に導いた功績は誠に顕著である。

氏名	若井 敦子 (ワカイ アツコ)
資格名	空手道コーチ4
主な功績	選手として、全日本空手道選手権大会8連覇や世界空手道選手権大会で4連覇(ギネスに認定)等、国内外の大会で活躍した経験を活かして、引退後は2007年から西濃運輸空手道部監督を務め、第67回国民体育大会(岐阜県)ではチームを優勝に導く等、選手の育成に尽力している。現在は全日本空手道連盟理事、全日本実業団空手道連盟理事に就任し、空手道の普及・発展に取り組んでいる。その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 滋賀県スポーツ協会

氏名	早川 廣次 (ハヤカワ ヒロジ)
資格名	軟式野球コーチ1、ジュニアスポーツ指導員、アシスタントマネージャー
主な功績	永年にわたり、指導者としてスポーツ少年団軟式野球に携わりジュニアの普及・育成・強化に努めた。現在は、いまづジョイナスクラブ代表として地域のスポーツ活性化に尽力している。また、滋賀県スポーツ指導者協議会理事として、滋賀県の指導者の環境整備に努めている。

推薦団体：公益財団法人 京都府スポーツ協会

氏名	久貝 久雄 (クガイ ヒサオ)
資格名	空手道コーチ2
主な功績	京都府八幡市空手道連盟設立からの職務を精力的にこなし、京都府空手道連盟の組織の充実発展・普及に貢献している。また、京都府空手道連盟 陪働会 久心館道場にて、幼児から一般の道場生に対し、指導・選手育成を行うなど、京都府の空手道界の普及・発展に努力している。そして、2000年に空手道コーチ2資格を取得し、指導者として功績顕著である。

推薦団体：公益財団法人 大阪府スポーツ協会

氏名	畑山 雅史 (ハタヤマ マサシ)
資格名	テニスコーチ3
主な功績	永年にわたり、大阪府テニス協会の普及・指導本部長として、指導員・上級指導員(現テニスコーチ1・テニスコーチ2)養成講習会、スポーツ指導者研修会など各種研修会の開催を企画し、自ら講師も務め数多くの指導者育成に貢献している。市町村テニス協会・連盟と協力し大阪府内のテニス普及・発展に尽力しており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 兵庫県スポーツ協会

氏名	森川 潔 (モリカワ キヨシ)
資格名	剣道コーチ2
主な功績	塚口剣友会、尼崎市夾竹桃剣友協会の主要指導者として活動している。塚口剣友会では2009年から現在に至るまで、会長に就任。夾竹桃剣友協会では2014年から副会長・会長を務め、現在は、相談役として共同活動を指導している。2013年から2021年まで、課外クラブ指導員として尼崎市立大庄中学校の剣道部を指導した。尼崎市剣道連盟の活動にも積極的に参加し、尼崎市剣道連盟の発展に貢献した。その功績は誠に顕著である。
氏名	上山 清治 (ウエヤマ キヨハル)
資格名	空手道コーチ4
主な功績	永年にわたり、空手道の指導を通じて青少年の健全育成に尽力し、指導した選手の中から全国大会優勝者を多数輩出した。この間、姫路市空手道連盟においては理事長・副会長、兵庫県空手道連盟においては常任理事、副理事長と要職を務め、兵庫県内の空手道の普及発展に大きく寄与した。また、日本スポーツマスターズでは、14年にわたり兵庫県選手団の監督を務め、壮年世代のスポーツ振興に大いに貢献するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	石野 勝己 (イシノ カツミ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	1991年に陸上競技コーチ3を取得後、永年にわたり、指導現場で活躍した。陸上競技に対する熱い思いと専門的知識、技能、経験を活かし、競技者のニーズや競技レベルに応じた指導・支援を行い、多くの選手を育成した。現在も陸上競技の指導現場に立ち、陸上競技の普及、振興に尽力している。

氏 名	一本松 文夫 (イッポンマツ フミオ)
資格名	山岳コーチ2
主な功績	2003年に兵庫県山岳連盟神戸支部の常任理事就任以来、救助技術と遭難対策の研究・普及に熱心に取り組み、新技術の開発のみならず、上級登山者から一般ハイカーレベルまで、幅広くそれぞれに適した技術講習会を開き、啓発に努力してきた。その努力と知識・経験により日本山岳・スポーツクライミング協会の常任委員をも務めており、積極的に山岳遭難事故防止活動に貢献し、山岳競技における指導者として活躍している。

推薦団体：公益財団法人 奈良県スポーツ協会

氏 名	松本 吉和 (マツモト ヨシカズ)
資格名	スキー・スノーボードコーチ2
主な功績	1988年に奈良県スキー連盟の理事に就任後、2004年に理事長、2016年に副会長、そして2020年から会長職を務め、現在に至るまで永年にわたり、地域でのスキー指導、スキー指導者の育成に尽力し、奈良県のスキースポーツの普及・発展に努めている。また、2004年から2019年まで奈良県スポーツ指導者協議会の運営に委員として携わり、その功績は誠に顕著である。
氏 名	九鬼 正光 (クキ マサミツ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	2010年から奈良陸上競技協会・強化部の総務に就任し、2020年から2022年まで奈良マラソン実行委員会にも勤務。また、2022年から現在に至るまで、奈良県スポーツ振興課に勤務している。特に、強化部時代は、全国各地で開催される大会や選手のサポートに尽力した。この功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 鳥取県スポーツ協会

氏 名	横山 重彦 (ヨコヤマ シゲヒコ)
資格名	水泳コーチ2
主な功績	永年にわたり、鳥取県水泳連盟登録団体の水泳指導や普及事業に携わっている。22年間の鳥取県水泳連盟評議員を経て、ここ2年は理事として現在も指導員の養成・育成に務め、その功績は誠に顕著である。また、17年間普及副委員長として水泳普及活動に貢献し、今後も鳥取県の水泳の発展および指導員の育成に寄与するものと期待している。

推薦団体：公益財団法人 山口県スポーツ協会

氏 名	岩本 秀文 (イワモト ヒデフミ)
資格名	水泳上級教師、水泳コーチ2マスター
主な功績	小児から成人まで幅広い年代の水泳指導を行っている。小児に関しては、水慣れから泳法の初心者指導から選手育成の強化クラスまでを担当している。また、山口県水泳連盟競技委員長の重責を担っている。普及委員としても指導者の育成に尽力し、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 香川県スポーツ協会

氏 名	林田 豊 (ハヤシダ ユタカ)
資格名	ボクシングコーチ3
主な功績	1992年から香川県ボクシング連盟理事として活動し、現在は審判委員長兼理事長を務める。1998年から2014年まで高松工芸高等学校ボクシング部監督として、2003年全国高等学校総合体育大会において優勝者を出す等、全国大会入賞者を多数輩出した。2013年から日本ボクシング連盟公認A級審判員、同連盟理事として全国大会運営でも活躍している。永年にわたり、香川県ボクシング連盟の発展に尽力した。
氏 名	澄川 幸助 (スミガワ コウスケ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	1984年から高等学校教諭として陸上競技部を指導し、多くの選手を育成した。香川陸上競技協会では理事として競技会の運営に携わり、数多くの大会を成功させた。また、記録情報処理委員長として、県内大会にとどまらず、香川県で開催される四国大会、全国大会の運営にも尽力した。

氏名	山下 修 (ヤマシタ オサム)
資格名	ソフトボールコーチ3
主な功績	永年、ソフトボール競技に携わり、競技力向上および普及発展、協会運営に尽力した。特に、香川県ソフトボール協会技術委員長として、全国の講習会にも講師として参加し、受講生に競技の技術・魅力を指導するなど選手育成に努めた。競技に真摯に取り組む姿勢、組織充実に対する貢献度は誠に顕著である。
氏名	中 緑 (ナカ ミドリ)
資格名	なぎなたコーチ2
主な功績	1989年に、なぎなたコーチ2の資格を取得し、2008年から香川県なぎなた連盟においてジュニア強化の中心となり競技力向上に努めた。永年にわたり、本連盟の常任理事および理事として普及発展に努め、その功績は顕著である。
氏名	田万 豊廣 (タマン トヨヒロ)
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	永年にわたり、香川県ソフトテニス連盟会長として、普及活動や国体強化施策の充実など、多岐にわたり尽力した。特に、中学生・高校生の競技力強化に尽力し、自らラケットをもって指導に当たるなど精力的な活動の傍ら、小学生の普及活動にも積極的に携わり、香川県内におけるソフトテニス界の発展に貢献した功績は、誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 徳島県スポーツ協会

氏名	藤田 和義 (フジタ カズヨシ)
資格名	弓道コーチ1
主な功績	高等学校教員として赴任校で弓道部を指導し、好成績を残してきた。その間に徳島県高等学校体育連盟弓道専門部委員長を歴任するなど、徳島県の高校弓道の発展に貢献した。また、18年にわたり徳島県弓道連盟理事を務めるとともに指導部会、強化部会および学校部会で競技力向上に尽力するなど、弓道振興と徳島県弓道連盟の発展に非常に貢献しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	三好 敏雄 (ミヨシ トシオ)
資格名	卓球コーチ3
主な功績	永年にわたり、徳島県卓球協会、鳴門市卓球協会の役員を務め、地元高校生への卓球競技の普及・発展に大きく貢献した。また、国民体育大会卓球競技において、徳島県少年男子監督も務めるなど、徳島県選手の育成・強化、競技力向上にも尽力しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	小川 幸夫 (オガワ ユキオ)
資格名	ソフトボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、徳島県ソフトボール協会の指導者委員長・常務理事・副理事長を務めるとともに、ソフトボールコーチ1の資格を有し、徳島県のソフトボール競技普及と技術力の向上に寄与した。また、日本ソフトボール協会の副審判長、徳島県協会審判長を歴任し、現在も審判員の育成・指導に携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	宮本 實 (ミヤモト ミノル)
資格名	ゲートボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、四国地域ゲートボール協議会理事、徳島県ゲートボール協会事務局長を務めており、ゲートボール競技の普及、組織の充実・発展に大いに尽力している。卓越した指導手腕を発揮し、全国大会で優勝者を多数輩出するなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 愛媛県スポーツ協会

氏名	臼杵 啓二 (ウスキ ケイジ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	永年にわたり、愛媛県内の高等学校において陸上競技部の指導にあたり、多くの優秀な選手を育てた。また、全国高等学校総合体育大会や国民体育大会にも多数の選手を出場させた。2023年度からは、愛媛陸上競技協会の副会長として組織活動の充実に尽力している。

氏名	神野 茂 (ジンノ シゲル)
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	2008年から2011年まで愛媛県ソフトテニス連盟強化委員会幹事、2012年から2017年まで愛媛県ソフトテニス連盟強化委員会委員として、国体成年男子チームの監督やコーチを務めた。永年若手選手の育成や強化に携わり、特に第68回国民体育大会(東京都)では、成年男子チームを準優勝に導いた。また、当時育成していた選手は、現在監督やコーチとして活躍し、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 福岡県スポーツ協会

氏名	時枝 洋海 (トキエダ ヒロミ)
資格名	ジュニアスポーツ指導員
主な功績	1986年から現在まで大野城市スポーツ少年団の副本部長、相談役などを歴任した。1995年から小・中学生を対象に、身体づくりや動きづくりの指導とリーダー育成の指導を行うなどスポーツ少年団の普及、活性化にも貢献している。その功績が評価され大野城市より表彰を受けており、今後も活躍が期待される。
氏名	藤木 祐一郎 (フジキ ユウイチロウ)
資格名	陸上競技コーチ3、アシスタントマネジャー
主な功績	2003年から地域における陸上指導を目的に陸上競技クラブUGTCを設立し、永年にわたり指導を行っており、2014年には日本陸上競技連盟から指導者表彰を受賞した。また、2006年からは糟屋郡陸上競技協会の理事、総務部長を務めるなど、陸上競技の普及振興に貢献しており、今後も活躍が期待される。
氏名	吉村 嘉彦 (ヨシムラ ヨシヒコ)
資格名	テニスコーチ1
主な功績	1979年から志免町テニス協会の理事、理事長を歴任した。また、1990年から現在まで、中学生・高校生および一般・高齢者対象を対象にテニス指導を行っており、普及振興に貢献している。その功績が評価され、志免町体育協会から功労者として表彰を受けており、今後も活躍が期待される。
氏名	森川 壽人 (モリカワ トシヒト)
資格名	ハンドボールコーチ1、スクーバ・ダイビングコーチ1
主な功績	1988年から現在まで、福岡県ハンドボール協会の理事、副会長等を歴任している。また、九州女子大学や九州共立大学ハンドボール部において部長や監督を務め、小学生のハンドボール教室の指導を行うなど、普及振興に貢献している。その功績が評価され、福岡県、北九州市スポーツ協会から功労者として表彰され、今後も活躍が期待される。
氏名	渡 健 (ワタリ タケシ)
資格名	空手道コーチ3
主な功績	2009年から福岡県空手道連盟の理事長、副会長を務め、さらにジュニア育成強化委員会を設置するなど、福岡県における空手道競技の普及活動に貢献した。また、1981年から現在まで小学校等での空手道の指導にも携わっている。その功績は顕著であり、今後も活躍が期待される。
氏名	宿利 重文 (シュクリ シゲフミ)
資格名	銃剣道コーチ1
主な功績	2017年から現在まで、福岡県銃剣道連盟の常任理事、副理事長等を歴任している。また、航空自衛隊や北九州市内で銃剣道の指導を行うなど、銃剣道の普及振興に貢献している。その功績が評価され、北九州銃剣道連盟、全日本銃剣道連盟から功労者として表彰されており、今後も活躍が期待される。
氏名	岩田 文也 (イワタ フミヤ)
資格名	ソフトボールコーチ1
主な功績	永年、ソフトボールに携わり、審判部としての活動をはじめ、一般チームやシニアチームのコーチや監督を務めるなど、指導者としての活躍も顕著である。また、その功績が評価され、北九州市ソフトボール協会から功労者として表彰されるなど、今後も活躍が期待される。
氏名	小山 義則 (オヤマ ヨシノリ)
資格名	空手道コーチ2
主な功績	福岡市空手道連盟の副理事長をはじめ、全日本空手道連盟剛柔会の福岡県理事などを歴任している。また、1990年から地域において空手道の指導に携わり、永年、空手道の普及振興に貢献している。その功績は顕著であり、今後も活躍が期待される。

氏名	平松 秀敏 (ヒラマツ ヒデトシ)
資格名	卓球コーチ1
主な功績	1978年から福岡市卓球協会の常任理事や副理事長、理事長を歴任し、福岡県卓球協会においても副理事長や副会長を歴任している。また、永年、卓球教室での指導にあたり、卓球の普及振興に貢献している。その功績から、日本卓球協会などから表彰を受けており、今後も活躍が期待される。

推薦団体：公益財団法人 佐賀県スポーツ協会

氏名	山口 則幸 (ヤマゲチ ノリユキ)
資格名	バレーボールコーチ1
主な功績	1988年から現在に至るまで、佐賀県バレーボール協会役員（指導普及委員、常任理事、指導普及委員長、副理事長）として協会の運営・発展に尽力するとともに、日本ソフトバレーボール連盟理事、佐賀県ソフトバレーボール連盟理事長として各連盟の運営・発展に努めている。また、小学生バレーボールからママさんバレーボールまで地域スポーツの振興に関わり、佐賀県内外のバレーボール競技の普及・発展に対する功績は、誠に顕著である。
氏名	北島 直幸 (キタジマ ナオユキ)
資格名	ボクシングコーチ3
主な功績	佐賀県のボクシング競技が未普及の時代に若くして公認コーチ（現コーチ3）の資格を取得し、高校生の競技力向上に貢献するとともに、佐賀県アマチュアボクシング連盟や佐賀県高等学校体育連盟の役員を永く務め、九州および全国の大会運営に携わりボクシング競技の発展に尽力した。さらに、佐賀県高等学校体育連盟の専門部長や公認スポーツ指導者協議会の幹事を務めるなど、組織運営にも取り組んでおり、その功績は誠に顕著である。
氏名	石丸 誠 (イシマル マコト)
資格名	ボクシングコーチ3
主な功績	永年にわたり、指導者として小中学生や高校生の指導に携わり、全国大会に出場する優秀選手を多数輩出している。また、佐賀県ボクシング連盟理事として2007年度および2013年度全国高等学校総合体育大会の実行委員や九州大会などの運営に積極的に携わり、組織運営面でも多大な貢献をした。現在もボクシングジムがない唐津市で、平成26年から総合型地域スポーツクラブで指導、普及に努めるなどその功績は誠に顕著である。
氏名	小松 正幸 (コマツ マサユキ)
資格名	空手道コーチ2
主な功績	永年にわたり、佐賀県空手道連盟の理事として運営に携わり連盟の発展に尽力するとともに、指導者としても自身が主宰する「唐空会」において、国体選手をはじめ、多数の優秀選手の育成に努めてきた。また、地域においては空手道を通じて、青少年の健全育成を図るとともに、佐賀県における空手道の普及発展に貢献するなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 長崎県スポーツ協会

氏名	皆良田 清文 (カイラダ キヨフミ)
資格名	空手道コーチ3
主な功績	1964年から2011年まで長崎県空手道連盟の事務局長を務め、永年にわたり空手道競技の普及・発展に寄与してきた。1971年には第1回長崎県高等学校空手道選手権大会を開催するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	神田 和征 (カンダ カズユキ)
資格名	ジュニアスポーツ指導員、アシスタントマネジャー
主な功績	永年にわたり、長崎市スポーツ少年団、長崎県スポーツ少年団に携わり、長崎県内のスポーツ少年団の普及・発展に寄与してきた。指導者としても活躍した時期もあり、青少年育成に貢献した。現在も、長崎県スポーツ少年団本部長として、スポーツ少年団事業に積極的に参加しており、今後更なる活躍が期待される。
氏名	宮川 誠悟 (ミヤガワ セイゴ)
資格名	空手道コーチ2
主な功績	永年にわたり、長崎県空手道連盟に属し様々な役職を務め、空手道の普及・発展に寄与してきた。1965年から、空手道競技に専念し、指導者としても長崎県の国体選手、全日本選手の育成に携わり、空手道競技の競技力向上に貢献している。その功績は誠に顕著であり、今後更なる活躍が期待される。

氏名	永山 安幸 (ナガヤマ ヤスユキ)
資格名	水泳教師
主な功績	永年にわたり、長崎県水泳連盟の事務局長および理事を務め、水泳競技の普及・発展に寄与してきた。1981年から長崎県内を中心に指導も行っており、指導者としても活躍している。また、長崎県障がい者スポーツ協会の理事も務め、パラスポーツの普及・発展にも貢献しており、その功績は誠に顕著であり、今後更なる活躍が期待される。
氏名	高橋 利則 (タカハシ トシノリ)
資格名	バレーボールコーチ 1
主な功績	永年にわたり、諫早市バレーボール協会、長崎県バレーボール協会、諫早市小学生バレーボール連盟に携わり、バレーボール競技の普及・発展に寄与してきた。1995年から地域においてバレーボールの指導をするなど、現在も指導者として活躍している。その功績は誠に顕著であり、今後更なる活躍が期待される。

推薦団体：公益財団法人 大分県スポーツ協会

氏名	尾野 耕一 (ビノ コウイチ)
資格名	陸上競技コーチ 2
主な功績	1993年から、陸上競技の指導を通じて少年少女の育成に尽力している。大分陸上競技協会理事および別府市陸上競技協会理事長・副会長として、指導普及・運営に携わり、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 宮崎県スポーツ協会

氏名	河野 敏史 (カワノ トシフミ)
資格名	陸上競技コーチ 3
主な功績	永年にわたり、宮崎県内の陸上競技における普及・強化に深く携わり、全国大会優勝者・入賞者を多数育成している。現在は、宮崎陸上競技協会副理事長を務めており、協会主催大会等の運営に尽力している。また、宮崎県障がい者スポーツ協会の専門指導員として、障がい者のスポーツ参加等にも力を注いでいる。
氏名	植村 貢 (ウエムラ ミツグ)
資格名	ジュニアスポーツ指導員
主な功績	永年にわたり、都城市内において少年野球の指導に携わっている。1993年から都城市スポーツ少年団本部役員、2015年から都城市少年野球連盟副理事長を務め、スポーツ少年団の健全育成に尽力するとともに、少年野球の普及や同連盟の発展に大きく貢献した。

推薦団体：公益財団法人 鹿児島県スポーツ協会

氏名	麻生 貴宣 (アソウ タカノブ)
資格名	陸上競技コーチ 3
主な功績	1989年から現在に至るまで、中学校部活動において陸上競技の指導に従事し、多くの優秀選手を輩出してきた。また、鹿児島陸上競技協会の記録部長や競技部長を永年務めるなど、鹿児島県の陸上界の発展に寄与してきた人物であり、2010年に河野謙三章（中学校優秀指導者章）を受賞するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	森田 紘一 (モリタ コウイチ)
資格名	ライフル射撃コーチ 3
主な功績	1996年から鹿児島県ライフル射撃協会理事長を務め、選手の強化指導に努めてきた。また、2005年には鹿児島県ライフル射撃場の建設に携わり、尚、1999年に日本ライフル射撃協会功労賞、2009年に鹿児島県体育功労賞、2013年に国民体育大会功労者表彰を受賞するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	井上 朝子 (イノウエ アサコ)
資格名	ダンススポーツコーチ 1、ジュニアスポーツ指導員
主な功績	永年鹿児島県ダンススポーツ連盟の運営に携わり、2002年からは鹿児島県ダンススポーツ連盟の理事としてダンススポーツの普及に努めてきた。2019年には鹿児島県ダンススポーツ連盟功労者表彰を受賞するなど、その功績は誠に顕著である。

氏名	吉原 眞智子 (ヨシハラ マチコ)
資格名	ダンススポーツコーチ1
主な功績	1998年の発足時から理事として鹿児島県ダンススポーツ連盟の運営に携わり、2004年からは鹿児島県ダンススポーツ連盟の事務局長を務めてきた。日本ダンススポーツ連盟や関係機関と連携を深め、ダンススポーツの普及・啓発に努め、2019年には、鹿児島県ダンススポーツ連盟特別功労者表彰を受賞するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	森田 昌宏 (モリタ マサヒロ)
資格名	アスレティックトレーナー
主な功績	鹿児島県サッカー協会少年男子チームのフィジカルコーチとして選手のサポートに貢献してきた。鹿児島県アスレティックトレーナー協議会副会長として運営に携わった。2022年に鹿児島県スポーツ協会アスレティックトレーナー協議会功労者賞を受賞するなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 沖縄県スポーツ協会

氏名	宮城 光男 (ミヤギ ミツオ)
資格名	テニスコーチ3
主な功績	永年にわたり、沖縄県テニス協会の理事として、テニススポーツ少年団結成および活動の支援、小中学校でのテニス体験教室やテニス体験イベントの開催などテニスの普及に携わる一方で、指導者のスキル向上事業にも携わり、資格取得のための公認スポーツ（テニス）指導者養成講習会の開催、中央コーチ招聘による指導者講習会の開催に積極的に取り組んでいる。
氏名	宮里 朝之 (ミヤザト トモユキ)
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	永年、沖縄陸上競技協会強化コーチとして選手の指導育成に携わり、陸上競技普及に尽力した。陸上競技国体チームの強化コーチとしても強化育成に努めた。選手の指導育成のみならず、陸上競技の指導者育成講習会においても講師を務め、指導者の育成も行った。

●中央競技団体推薦

推薦団体：公益財団法人 全日本柔道連盟

氏名	田邊 陽子 (タナベ ヨウコ)
資格名	柔道コーチ3
主な功績	2013年から全日本柔道連盟理事、指導者養成委員会委員を務めている。また、2014年から2019年までアスリート委員会委員長を務めた。現役を引退後、1996年から現在に至るまで、大学生、実業団を中心に指導をし、育成・普及に携わっている。永年にわたる柔道指導の功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

氏名	中村 和義 (ナカムラ カズヨシ)
資格名	山岳コーチ2
主な功績	2016年から2020年まで、長野県山岳協会の中信支部部長（山岳）および指導委員長として、協会の運営に携わった。また、1994年から現在に至るまで、山岳指導者育成、長野県スポーツ指導者（山岳）理事としてスポーツ指導者研修会の運営に携わり、その功績は誠に顕著である。さらに、長野県山岳総合センター講師として遭難防止、正しい登山技術と安全登山の啓発に務めている。
氏名	小畑 和人 (オバタ カズト)
資格名	山岳コーチ4マスター、スキー・スノーボードコーチ2
主な功績	1998年から現在に至るまで、大阪府山岳連盟の指導委員長として指導員育成、冬山講習会、登山技術講習会の運営、講師を務める。また、2022年から現在に至るまで、大阪府山岳連盟の会長として、運営に携わっている。大阪府のみならず関西の山岳団体の中心として各種講習会、研修会の運営に携わり、日本山岳・スポーツクライミング協会の夏山リーダー制度にも技術的なサポートを実施しており、その功績は誠に顕著である。

氏名	辻 敏夫 (ツジ トシオ)
資格名	山岳コーチ4、スポーツクライミングコーチ2、陸上競技コーチ2
主な功績	1994年から山梨県における国体山岳競技チームの強化スタッフ、山岳指導員研修会の講師を務め、2011年からスポーツクライミング指導者養成講習会の講師を務める。2017年から現在に至るまで、山梨県山岳連盟の指導委員長、2021年から現在に至るまで、山梨県山岳連盟の副会長を務め、運営に携わっているほか、公認審判員養成講習会の講師として、山梨県のみならず、スポーツクライミングの研修運営講師として山梨県の指導者要請に関わり、その功績は顕著である。

推薦団体：公益社団法人 日本カーリング協会

氏名	久保田 正平 (クボタ ショウヘイ)
資格名	カーリングコーチ2
主な功績	北海道カーリング協会において、永年にわたり審判資格者の指導に携わり、審判技術の向上とカーリング競技の発展に尽力している。また、日本カーリング協会公認A級審判員として、日本カーリング選手権大会など主要な大会で審判長及び副審判長を務め、各種大会運営を通じて選手の育成に寄与しているほか、公認審判員養成講習会の講師として、公認審判員の養成と技能向上に大きく貢献しており、その功績は顕著である。

推薦団体：公益社団法人 日本エアロビック連盟

氏名	藤原 裕美 (フジハラ ヒロミ)
資格名	エアロビックコーチ1、アシスタントマネジャー
主な功績	永年にわたり、エアロビック普及に携わり、地域の子どもから高齢者までを対象にエアロビックの普及に尽力してきた。山梨県エアロビック連盟の創設にも寄与し、山梨県内のエアロビック振興に貢献した功績は多大である。
氏名	土井 逸子 (ドイ イツコ)
資格名	エアロビックコーチ2
主な功績	徳島県エアロビック連盟の理事長として、永きにわたり徳島県内のエアロビック普及の中心的な役割を担っている。同時に四国エアロビック協議会の委員として地域のエアロビックの普及・障がい者への指導に尽力してきた。その功績は顕著である。

推薦団体：公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟

氏名	林 映子 (ハヤシ エイコ)
資格名	ダンススポーツコーチ3
主な功績	永年にわたり、宮城県ダンススポーツ連盟の競技部副部長として、日本ダンススポーツ連盟公認指導員の養成講習会および資格更新研修会講師を務めた。また、ねりんピック代表選手等、宮城県選手の競技力向上のために尽力するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	鴻巣 正巳 (コウノス マサミ)
資格名	ダンススポーツコーチ3
主な功績	永年にわたり、茨城県ダンススポーツ連盟所属のサークルでの指導に携わり、ダンススポーツの普及活動に多大な貢献をした。また、茨城県ダンススポーツ連盟理事として組織運営に尽力するとともに指導者育成に務めるなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	熊谷 正子 (クマガイ セイコ)
資格名	ダンススポーツコーチ3
主な功績	永年にわたり、福島県ダンススポーツ連盟所属のサークルでの指導に携わり、日本ダンススポーツ連盟公認指導員の養成講習会および資格更新研修会講師を務めた。また、技術認定会等における実技講師を勤め、福島県選手の競技力向上のために尽力するなど、その功績は誠に顕著である。

【表彰の基準 第1号】スポーツドクター 18名

公認スポーツドクターとして、資格認定後15年以上にわたり、スポーツの普及振興に尽力し、顕著な功績が認められた方。

推薦団体：公益財団法人 青森県スポーツ協会

氏名	三上 泰徳（ミカミ ヤスノリ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、スポーツドクターとして、青森県民駅伝競走大会の大会ドクターを務めるとともに、青森県内スポーツイベントにおいても多数の会場ドクターとして、スポーツ現場での救護活動に従事してきた。また、青森県スポーツドクターの会副会長として、スポーツ関連の諸事業に積極的に携わるなど、青森県民のスポーツ競技力向上および健康増進に寄与し、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 秋田県スポーツ協会

氏名	阿部 芳久（アベ ヨシヒサ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、秋田県スポーツ協会理事や同医・科学委員会委員長とし、秋田県のスポーツ医・科学の発展に貢献してきた。特に国民体育大会秋田県チームの帯同ドクターとして、選手の健康管理、傷害の予防や治療など、秋田県のアスリートをサポートしてきた功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 山形県スポーツ協会

氏名	小林 真司（コバヤシ シンジ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	2004年より永年にわたり、スポーツドクターとして山形県のスポーツ医科学の発展に貢献した。柔道競技の経験を生かし、柔道整復師対象の講習会の講師や、第38回全国中学校柔道大会（山形市）や、第64回国民体育大会（青森県）等のスポーツ大会で、会場ドクターとして医療救護に積極的に参加した。また、整形外科医の立場から、スポーツ外傷・障害予防などについて、スポーツ活動を医学面からサポートを行ってきた。

推薦団体：公益財団法人 福島県スポーツ協会

氏名	武田 知通（タケダ トモミチ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、スポーツドクターとして活動し、バスケットボール界を医学的見地から支え、その普及・発展に貢献した。2000年にはFIBA U18アジア選手県大会のチームドクター、2006年にはFIBAバスケットボール・ワールドカップの医療スタッフとしても活躍した。また、いわき市ではメディカルフィットネスに取り組むなど、スポーツドクターとして顕著な功績を残している。
氏名	渡辺 政行（ワタナベ マサユキ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、地域密着型のスポーツドクターとして、全国規模の大きな行事やスポーツ大会にメディカルドクターとして従事するなど、医学面から地域のスポーツ活動に携わり、大きく貢献した。また、地域住民の健康管理・促進、スポーツ活動の安全な実施等について医学面から支えるなど、スポーツドクターとして地域への貢献度は非常に高く、その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 群馬県スポーツ協会

氏名	竹内 法明（タケウチ ノリアキ）
資格名	スポーツドクター
主な功績	2001年から、群馬県スポーツ協会の県民体力づくり相談事業におけるメディカルチェックおよびスポーツ医事相談事業等に積極的に協力し、群馬県の競技力向上に寄与している。また、スポーツドクター協議会員として、群馬県のスポーツ界発展のために貢献している。

推薦団体：公益財団法人 石川県スポーツ協会

氏名	勝木 保夫 (カツキ ヤスオ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	1997年から地域健康増進施設および病院において、スポーツドクターとして、スポーツ障害・外傷の治療と障害予防の啓発活動を実施。2014年に石川県内初の野球肘検診を小松市で立ち上げ、現在も継続して行っている。2010年から9年間、石川県医師会スポーツ医部担当理事、2009年から小松市スポーツ協会役員として地域スポーツ振興に携わった。さらに、第23回全国健康福祉祭いしかわ大会（ねんりんピック石川2010）で大会役員、2015年に開催された日本スポーツマスターズ石川大会で企画運営委員を務めた。

推薦団体：公益財団法人 静岡県スポーツ協会

氏名	鈴木 英彦 (スズキ ヒデヒコ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	2001年からスポーツドクターとして、専門の柔道競技を始め、多くの選手や監督等に対し医学的アドバイスを行っている。2018年に静岡県スポーツドクター協議会の理事に就任してからは、産婦人科医としていち早く女性アスリート支援に力を入れ、現在は、静岡県産婦人科医会の女性アスリート健康支援委員会の部長として尽力している。その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 愛知県スポーツ協会

氏名	大島 祐之 (オオシマ ユウシ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	2003年から愛知県のスポーツ医科学の拠点であったスポーツ医・科学研究所に在籍し、研究所が廃止された現在でも継続して、愛知県内におけるあらゆるレベルのアスリートのスポーツ傷害の手術的および保存的治療を行っている。また、スポーツドクター愛知県連絡協議会の会員として、様々な競技会の会場ドクターを務めるなど、愛知県のスポーツ振興に対する貢献は顕著である。
氏名	野崎 正浩 (ノザキ マサヒロ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	2009年にスポーツドクター愛知県連絡協議会の会員となって以来、主に国民体育大会における帯同ドクターとして活躍している。選手に寄り添いサポートする姿勢は帯同ドクターとしての理想形であり、選手からの信頼も厚い。愛知県における国民スポーツ大会選手団として今後も協力依頼をしたい貴重な人材である。

推薦団体：公益財団法人 愛媛県スポーツ協会

氏名	相原 忠彦 (アイバラ タダヒコ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、スポーツドクターとしてスポーツ医・科学の発展に寄与した。特に、愛媛県スポーツドクター協議会会員として、スポーツ大会の医療救護に積極的に取り組むとともに、国体選手の健康診断に協力するなど、スポーツ医・科学サポート体制の構築に尽力している。
氏名	西本 章 (ニシモト アキラ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、スポーツドクターとしてスポーツ医・科学の発展に寄与した。特に愛媛県医師会の役員として、スポーツ医・科学サポート体制の構築に尽力し、スポーツ医・科学の推進に積極的に取り組み、精力的に活動している。

推薦団体：公益財団法人 高知県スポーツ協会

氏名	上田 英輝 (ウエタ エイキ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	2018年から高知県スポーツ医・科学委員会の委員、2023年からは高知県メディカルチェック委員会の委員も務め、スポーツ・医科学の分野で高知県スポーツ選手の競技力向上に寄与している。また、2010年から7回にわたり国体帯同ドクターを務めるなど、高知県のスポーツ活動に大きく寄与され、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 長崎県スポーツ協会

氏名	野田 晋 (ノダ ススム)
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、医師会の一員として活躍している。2000年にスポーツドクター資格認定後、2004年から2006年まで長崎県医師会監事も務め、長崎県内のメディカルチェック事業に毎年参加するなど、幅広く活躍している。その功績は誠に顕著であり、今後更なる活躍が期待される。

推薦団体：公益財団法人 熊本県スポーツ協会

氏名	坂本 公宣 (サカモト キミノリ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	2017年から熊本県スキー連盟理事、2019年から熊本県スキー連盟副理事長として、連盟の健全な運営に尽力するとともに、各種スポーツ大会のスポーツドクターとして参加者の安全管理等に携わり、地域のスポーツの振興並びに推進に貢献した。その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 大分県スポーツ協会

氏名	久保 徳彦 (クボ ノリヒコ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	国民体育大会大分県チームドクターをはじめ、ラグビーやバレーボールなど幅広い種目でチームドクターとして活動している。また、大分県スポーツ協会医科学委員としての活動は、競技力向上や生涯スポーツの普及など多岐にわたり、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 鹿児島県スポーツ協会

氏名	具志堅 隆 (グシケン タカシ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	日本卓球連盟の帯同ドクターを務め、選手のメディカルサポートに貢献してきた。第32回オリンピック競技大会(2021/東京)、東京2020パラリンピック競技大会においては、東京体育館の卓球会場ドクターとして、日本選手団や各国の体調管理に尽力した。2021年には鹿児島県スポーツドクター協議会功労者賞を受賞するなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 日本陸上競技連盟

氏名	鳥居 俊 (トリイ スグル)
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、日本陸上競技連盟医事委員会委員および副委員長として医事委員の育成、選手のメディカルサポートを行った。特に、下肢に障害発生の多い、競歩チームの競技力向上に貢献し、第32回オリンピック競技大会(2020/東京)でメダル獲得に寄与した。その功績が讃えられ、2022年度に秩父宮章を受章した。

はしる、とび、あろう、その先へ。



未来を担う子ども
 スポーツは大きな貢献
 からだを動かすたのしさは、
 他者との関わりやルールへの
 達成のよろこびは努力の
 あたしたちは、スポーツに親しむ
 担い手になっていくまでの
 スポーツに親しめる社会の

たちの健全な育成に、
 ができると信じています。
 健康なからだを作り、
 学ぶは、社会性を育み、
 大切さを教えてくれます。
 子どもたちが未来を創る
 道のりを支え、あらゆる世代が
 実現を目指しています。

スポーツと、望む未来へ。



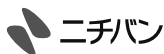
JSPPO

Japan Sport Association

OFFICIAL PARTNERS



LOTTE



日本文化出版



時事通信



OFFICIAL SUPPLIERS



日本体育施設

PRTIMES



【表彰の基準 第2号】 73 名

公認スポーツ指導者として、競技力の向上に尽力し、前年度に開催されたオリンピック競技大会、アジア競技大会又はこれに準じる国際大会において、優秀な成績をあげた選手を育成指導された方。

推薦団体：公益財団法人 日本陸上競技連盟

氏名	星野 晃志 (ホシノ コウジ)	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	藤原 寛人		
大会名	第19回U20世界陸上競技選手権大会	種目・成績	男子4×100mリレー / 1位
主な功績	2022年に行われた第19回U20世界陸上競技選手権大会陸上競技4×100mリレーにおいて、第1位に輝いた藤原寛人選手を、2019年から現在に至るまで監督として指導を行っている。その功績は誠に顕著である。		
氏名	皆川 雅勝 (ミナカワ マサカツ)	資格名	陸上競技コーチ 1
指導選手名	石川 周平		
大会名	第10回アジア室内陸上競技選手権大会	種目・成績	男子60mハードル / 3位
主な功績	2023年に行われた第10回アジア室内陸上競技選手権大会陸上競技60mハードルにおいて、第3位に輝いた石川周平選手を、2008年から2011年までの中学の約3年間、監督として陸上競技への取り組みの基礎を重点に指導を行った。その功績は誠に顕著である。		
氏名	深山 文夫 (ミヤマ フミオ)	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	猿見田 裕香		
大会名	第16回アジアクロスカントリー選手権大会	種目・成績	シニア女子10km / 1位
主な功績	2023年に行われた第16回アジアクロスカントリー選手権大会陸上競技10kmクロスカントリーにおいて、第1位に輝いた猿見田裕香選手を、2017年から現在に至るまでの約6年間、監督として指導を行っている。その功績は誠に顕著である。		
氏名	十倉 みゆき (トクラ ミユキ)	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	柳井 綾音		
大会名	第19回U20世界陸上競技選手権大会	種目・成績	女子10000m競歩 / 3位
主な功績	2022年に行われた第19回U20世界陸上競技選手権大会陸上競技10000m競歩において、第3位に輝いた柳井綾音選手を、コーチとして献身的な指導を行っている。その功績は誠に顕著である。		
氏名	高山 克司 (タカヤマ カツシ)	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	大山 藍		
大会名	第19回U20世界陸上競技選手権大会	種目・成績	女子10000m競歩 / 2位
主な功績	2022年に行われた第19回U20世界陸上競技選手権大会陸上競技10000m競歩において、第2位に輝いた大山藍選手を、2021年4月から現在に至るまで、専任コーチとして指導を行っている。その功績は誠に顕著である。		
氏名	豊田 裕浩 (トヨタ ヤスヒロ)	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	藤原 寛人		
大会名	第19回U20世界陸上競技選手権大会	種目・成績	男子4×100mリレー / 1位
主な功績	2022年に行われた第19回U20世界陸上競技選手権大会陸上競技4×100mリレーにおいて、第1位に輝いた藤原寛人選手を、2019年から現在に至るまでコーチとして指導を行っている。その功績は誠に顕著である。		
氏名	阿部 幸彦 (アベ ユキヒコ)	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	石川 周平		
大会名	第10回アジア室内陸上競技選手権大会	種目・成績	男子60mハードル / 3位
主な功績	2023年に行われた第10回アジア室内陸上競技選手権大会陸上競技60mハードルにおいて、第3位に輝いた石川周平選手を、2011年から2014年までの高校の約3年間コーチとして、ハードル種目の技術的基礎を重点に指導を行った。その功績は誠に顕著である。		

氏名	藤川 浩喜 (フジカワ ヒロヨシ)	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	那須 眞由		
大会名	第10回アジア室内陸上競技選手権大会	種目・成績	女子棒高跳び / 1位
主な功績	2023年に行われた第10回アジア室内陸上競技選手権大会陸上競技棒高跳において、第1位に輝いた那須眞由選手を、2015年から現在に至るまで、監督として指導を行っている。その功績は誠に顕著である。		
氏名	永井 宏明 (ナガイ ヒロアキ)	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	住所 大翔		
大会名	第18回世界陸上競技選手権大会 OREGON2022	種目・成績	男子20km競歩 / 8位
主な功績	2022年に行われた第18回世界陸上競技選手権大会陸上競技競歩20km競歩において、第8位に輝いた住所大翔選手を、2015年から2018年までの約3年間、コーチとして指導を行った。その功績は誠に顕著である。		
氏名	塚田 美和子 (ツカダ ミワコ)	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	石川 周平		
大会名	第10回アジア室内陸上競技選手権大会	種目・成績	男子60mハードル / 3位
主な功績	2023年に行われた第10回アジア室内陸上競技選手権大会陸上競技60mハードルにおいて、第3位に輝いた石川周平選手を、2011年から2014年までの高校の約3年間監督として競技者としての基礎を重点に指導を行った。その功績は誠に顕著である。		
氏名	武井 隼児 (タケイ シュンジ)	資格名	アスレティックトレーナー
指導選手名	石川 周平		
大会名	第10回アジア室内陸上競技選手権大会	種目・成績	男子60mハードル / 3位
主な功績	2023年に行われた第10回アジア室内陸上競技選手権大会陸上競技60mハードルにおいて、第3位に輝いた石川周平選手を、2014年から現在に至るまでトレーナーとして怪我からの競技復帰やコンディショニング、競技力向上のサポートを行っている。その功績は誠に顕著である。		
氏名	相馬 聡 (ソウマ サトシ)	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	佐藤 風雅		
大会名	第18回世界陸上競技選手権大会 OREGON2022	種目・成績	男子4×400mリレー / 4位
主な功績	2022年に行われた第18回世界陸上競技選手権大会陸上競技4×400mリレーにおいて、第4位に輝いた佐藤風雅選手を、2019年から現在に至るまで、専任コーチとして指導を行っている。その功績は誠に顕著である。		
氏名	廣瀬 永和 (ヒロセ ヒサカズ)	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	塩見 綾乃		
大会名	第10回アジア室内陸上競技選手権大会	種目・成績	女子800m / 2位
主な功績	2023年に行われた第10回アジア室内陸上競技選手権大会陸上競技800mにおいて、第2位に輝いた塩見綾乃選手を、2022年から現在に至るまで、専任コーチとして指導を行っている。その功績は誠に顕著である。		
氏名	前田 義行 (マエダ ヨシユキ)	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	真野 友博		
大会名	第18回世界陸上競技選手権大会 OREGON2022	種目・成績	男子走高跳び / 8位
主な功績	2022年に行われた第18回世界陸上競技選手権大会陸上競技走高跳において、第8位に輝いた真野友博選手を、2012年から2015年までの高校時代の約3年間指導を行った。その功績は誠に顕著である。		

推薦団体：公益財団法人 日本サッカー協会

氏名	岡本 三代 (オカモト ミヨ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	浜野 まいか		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ゴールデンボール (優秀選手賞)、シルバーブーツ (得点2位) を獲得した浜野まいか選手を、セレッソ大阪堺ガールズ、セレッソ大阪堺アカデミーに在籍していた2017年から2019年に指導し、選手育成に貢献した。		

氏名	高橋 優 (タカハシ ユウ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	浜野 まいか		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ゴールデンボール (優秀選手賞)、シルバーブーツ (得点2位) を獲得した浜野まいか選手を、セレッソ大阪堺ガールズに在籍していた2017年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	磯上 まみ (イソガミ マミ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	浜野 まいか		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ゴールデンボール (優秀選手賞)、シルバーブーツ (得点2位) を獲得した浜野まいか選手を、セレッソ大阪堺ガールズ、セレッソ大阪堺アカデミー、セレッソ大阪堺レディースに在籍していた2017年から2021年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	竹花 友也 (タケハナ トモヤ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	浜野 まいか		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ゴールデンボール (優秀選手賞)、シルバーブーツ (得点2位) を獲得した浜野まいか選手を、セレッソ大阪堺ガールズ、セレッソ大阪堺アカデミー、セレッソ大阪堺レディースに在籍していた2017年から2018年および2020年から2021年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	山科 花恵 (ヤマシナ ハナエ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	浜野 まいか		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ゴールデンボール (優秀選手賞)、シルバーブーツ (得点2位) を獲得した浜野まいか選手を、セレッソ大阪堺ガールズ、セレッソ大阪堺アカデミー、セレッソ大阪堺レディースに在籍していた2017年から2018年および2020年から2021年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	池田 昌弘 (イケダ マサヒロ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	浜野 まいか		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ゴールデンボール (優秀選手賞)、シルバーブーツ (得点2位) を獲得した浜野まいか選手を、セレッソ大阪堺ガールズ、セレッソ大阪堺アカデミー、セレッソ大阪堺レディースに在籍していた2018年から2021年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	長谷川 歩 (ハセガワ アユミ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	浜野 まいか		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ゴールデンボール (優秀選手賞)、シルバーブーツ (得点2位) を獲得した浜野まいか選手を、セレッソ大阪堺アカデミー、セレッソ大阪堺レディースに在籍していた2019年から2021年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	家崎 幹哉 (イエザキ ミキヤ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	浜野 まいか		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ゴールデンボール (優秀選手賞)、シルバーブーツ (得点2位) を獲得した浜野まいか選手を、セレッソ大阪堺ガールズに在籍していた2019年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	須山 陽平 (スヤマ ヨウヘイ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	浜野 まいか		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ゴールデンボール (優秀選手賞)、シルバーブーツ (得点2位) を獲得した浜野まいか選手を、セレッソ大阪堺レディースに在籍していた2020年から2021年に指導し、選手育成に貢献した。		

氏名	星川 敬 (ホシカワ ケイ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	浜野 まいか		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ゴールデンボール (優秀選手賞)、シルバーブーツ (得点2位) を獲得した浜野まいか選手を、セレッソ大阪堺レディースに在籍していた2021年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	高嵩 理貴 (タカサキ リキ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	浜野 まいか		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ゴールデンボール (優秀選手賞)、シルバーブーツ (得点2位) を獲得した浜野まいか選手を、セレッソ大阪堺レディースに在籍していた2021年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	日高 欣弘 (ヒダカ ヨシヒロ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	浜野 まいか		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ゴールデンボール (優秀選手賞)、シルバーブーツ (得点2位) を獲得した浜野まいか選手を、セレッソ大阪堺レディースに在籍していた2020年から2021年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	古川 将大 (フルカワ マサヒロ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	山本 柚月		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ブロンズブーツ (得点3位) を獲得した山本柚月選手を、日テレ・メニーナに在籍していた2018年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	新福 優 (シンブク ユタカ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	山本 柚月		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ブロンズブーツ (得点3位) を獲得した山本柚月選手を、日テレ・メニーナに在籍していた2018年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	坂谷 武春 (サカタニ タケハル)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	山本 柚月		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ブロンズブーツ (得点3位) を獲得した山本柚月選手を、日テレ・メニーナ、日テレ・東京ヴェルディメニーナに在籍していた2019年から2020年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	竹本 一彦 (タケモト カズヒコ)	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	山本 柚月		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ブロンズブーツ (得点3位) を獲得した山本柚月選手を、日テレ・東京ヴェルディベレーザに在籍していた2021年に指導し、選手育成に貢献した。		
氏名	増成 暁彦 (マスナリ アキヒコ)	資格名	サッカーコーチ 1 アスレティックトレーナー
指導選手名	山本 柚月		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ブロンズブーツ (得点3位) を獲得した山本柚月選手を、日テレ・東京ヴェルディベレーザに在籍していた2021年に指導し、選手育成に貢献した。		

氏名	三浦 大輔 (ミウラ ダイスケ)	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	山本 柚月		
大会名	FIFA U-20女子ワールドカップコスタリカ2022	種目・成績	2位
主な功績	FIFA U-20女子ワールドカップ コスタリカ2022に出場し、ブロンズブーツ (得点3位) を獲得した山本柚月選手を、FCパーシモンに在籍していた2013年から2014年に指導し、選手育成に貢献した。		

推薦団体：公益財団法人 日本スケート連盟

氏名	小原 健太郎 (コハラ ケンタロウ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	佐々木 翔夢、笠原 光太郎、菊原 颯	種目・成績	スピードスケート 男子団体追い抜き / 3位
大会名	ISU2023世界ジュニアスピード選手権大会		
主な功績	ISU2023世界ジュニアスピードスケート選手権大会の派遣チーム帯同監督として、特に団体追い抜きの指導に携わり、同競技会での男子団体追い抜き銅メダル獲得に大きく貢献した。		

氏名	和田 貴志 (ワダ タカシ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	①佐々木 翔夢、①笠原 光太郎、①菊原 颯 ②軍司 一冨、③野々村 太陽、④谷垣 優斗	種目・成績	①スピードスケート 男子団体追い抜き / 3位 ②スピードスケート 男子500m / 2位 ②スピードスケート 男子1000m / 3位 ③スピードスケート 男子1000m / 2位 ③スピードスケート 男子1500m / 1位 ④スピードスケート 男子チームパシュート / 1位
大会名	①ISU2023世界ジュニアスピードスケート選手権大会 ②ISU2023世界ジュニアスピードスケート選手権大会 ③FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ ④FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	2023世界ジュニアスピードスケート選手権大会の派遣チーム帯同コーチとして、男子団体追い抜き銅メダル獲得に大きく貢献した。また、同競技会男子500mで銀メダル、1000mで銅メダルを獲得した軍司一冨選手や、FISUワールドユニバーシティゲームズ男子1500mで金メダル、1000mで銀メダルを獲得した野々村太陽選手らの高校時代の指導にも携わり、当該選手達のメダル獲得に大きく貢献した。		

氏名	入澤 孝一 (イリサワ コウイチ)	資格名	スケートコーチ 4
指導選手名	山田 和哉	種目・成績	①スピードスケート 男子団体追い抜き / 5位 ②スピードスケート 男子1000m / 1位 ②スピードスケート 男子500m / 2位 ②スピードスケート 男子1500m / 2位 ②スピードスケート 男子団体追い抜き / 1位
大会名	①ISU世界スピードスケート選手権 ②FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISUワールドユニバーシティゲームズ男子1000mで金メダル、500m、1500mで銀メダルを獲得した、山田和哉選手の大学時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得、入賞に大きく貢献した。		

氏名	白幡 圭史 (シラハタ ケイジ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	佐藤 綾乃	種目・成績	スピードスケート 女子団体追い抜き / 2位
大会名	ISU世界スピードスケート選手権		
主な功績	ISU世界スピードスケート選手権大会女子団体追い抜きで銀メダルを獲得した、佐藤綾乃選手の中学時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		

氏名	野明 弘幸 (ノアケ ヒロユキ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	賀来 真穂	種目・成績	スピードスケート 女子団体追い抜き / 3位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ女子団体追い抜きで銅メダルを獲得した、賀来真穂選手の高校時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	畠山 薫 (ハタケヤマ カオル)	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	菊原 颯	種目・成績	スピードスケート 男子団体追い抜き / 3位
大会名	ISU2023世界ジュニアスピードスケート選手権大会		
主な功績	ISU2023世界ジュニアスピードスケート選手権大会男子団体追い抜きで銅メダルを獲得した、菊原颯選手の高校時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	椿 央 (ツバキ ヒロシ)	資格名	スケートコーチ 4
指導選手名	真野 美咲	種目・成績	スピードスケート 女子マスタート / 1位 スピードスケート 女子団体追い抜き / 3位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ女子マスタートで金メダル、女子団体追い抜きで銅メダルを獲得した、真野美咲選手の高校時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	小野 俊 (オノ スグル)	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	真野 美咲	種目・成績	スピードスケート 女子マスタート / 1位 スピードスケート 女子団体追い抜き / 3位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ女子マスタートで金メダル、女子団体追い抜きで銅メダルを獲得した、真野美咲選手の高校時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	青木 義彰 (アオキ ヨシアキ)	資格名	スケートコーチ 4
指導選手名	高橋 侑花	種目・成績	スピードスケート女子マスタート / 2位 スピードスケート男女混合リレー / 2位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ女子マスタートで銀メダルを獲得した、高橋侑花選手の大学時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	大村 正彦 (オオムラ マサヒコ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	賀来 真穂	種目・成績	スピードスケート 女子団体追い抜き / 3位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ女子団体追い抜きで銅メダルを獲得した、賀来真穂選手の中学時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	羽田 雅樹 (ハダ マサキ)	資格名	スケートコーチ 4
指導選手名	賀来 真穂	種目・成績	スピードスケート 女子団体追い抜き / 3位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ女子団体追い抜きで銅メダルを獲得した、賀来真穂選手の指導に現監督として携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	松井 錦次 (マツイ キンジ)	資格名	スケートコーチ 1 ジュニアスポーツ指導員
指導選手名	蟻戸 一永	種目・成績	スピードスケート男子1500m / 3位 スピードスケート男子5000m / 3位 スピードスケート男子団体追い抜き / 1位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ男子1000m、1500mで銅メダル、男子団体追い抜きで金メダルを獲得した、蟻戸一永選手の中学時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		

氏名	伊藤 雅敏 (イトウ マサトシ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	①岩佐 暖、①渡邊 啓太、①吉永 一貴 ②平井 亜美、②菊地 純礼、②渡邊 碧、 ②黒川 輝衣、②菊池 萌水	種目・成績	①ショートトラック 男子5000mリレー／5位 ②ショートトラック 女子3000mリレー／6位
大会名	ISU世界ショートトラック選手権大会		
主な功績	ISU世界ショートトラック選手権大会、世界ジュニアショートトラック選手権大会の派遣チーム帯同コーチとして、特にリレー種目の指導に携わり、同競技会での複数種目のメダル獲得、入賞に大きく貢献した。		
氏名	伴野 清貴 (トモノ キヨタカ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	①岩佐 暖、①渡邊 啓太、①吉永 一貴 ②平井 亜実、②菊池 萌水、②渡邊 碧、 ②黒川 輝衣	種目・成績	①ショートトラック 男子5000mリレー／5位 ②ショートトラック 女子3000mリレー／6位
大会名	ISU世界ショートトラック選手権大会		
主な功績	ISU世界ショートトラック選手権大会の派遣チーム帯同コーチとして、特にリレー種目の指導に携わり、同競技会での女子3000mリレー、男子5000mリレーの入賞に大きく貢献した。		
氏名	榊 聡 (サカキ サトル)	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	①吉永 一貴 ②平井 亜実	種目・成績	①ショートトラック 男子1000m／6位 ①ショートトラック 男子5000mリレー／5位 ②ショートトラック 女子3000mリレー／6位
大会名	ISU世界ショートトラック選手権大会		
主な功績	ISU世界ショートトラック選手権大会男子1000mで6位入賞、男子5000mリレーで5位入賞した吉永一貴選手、同競技会女子3000mリレーで6位入賞した平井亜実選手が所属するチームの部長として直接指導し、当該選手達の入賞に大きく貢献した。		
氏名	小原 英志 (コハラ エイジ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	①佐藤 綾乃、①堀川 桃香、①菊地 純礼 ②山田 和哉、②一戸 誠太郎、②土屋 陸 ③村上 右磨	種目・成績	①スピードスケート 女子団体追い抜き／2位 ②スピードスケート 男子500m／4位 ③ショートトラック 男子500m／4位
大会名	ISU世界スピードスケート選手権大会		
主な功績	ISU世界スピードスケート選手権大会、世界ショートトラック選手権大会で入賞した選手達を、直接指導し、スピードスケート女子団体追い抜き銀メダル、ショートトラック女子3000mリレーの入賞に大きく貢献した。		
氏名	菊池 彩花 (キクチ アヤカ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	菊地 純礼、堀川 桃香	種目・成績	①スピードスケート 女子団体追い抜き／2位 スピードスケート 女子3000m／8位 スピードスケート 女子5000m／6位 ②スピードスケート 女子3000m／1位
大会名	①ISU世界スピードスケート選手権大会 ②ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会		
主な功績	ISU世界スピードスケート選手権大会女子団体追い抜きで銀メダル、世界ショートトラック選手権大会女子3000mリレーで入賞した菊池純礼選手や、2023年世界ジュニアスピードスケート選手権大会女子3000mで金メダルを獲得した堀川桃香選手を、所属するチームのコーチとして直接指導し、当該選手達のメダル獲得に大きく貢献した。		

氏名	小山 友香里 (コヤマ ユカリ)	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	和田 拓実、高橋 花菜、中島 未莉 長森 遥南、松津 秀太	種目・成績	ショートトラック 男女混合リレー / 3位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズのチーム帯同コーチとして、特にリレー種目の指導に携わり、同競技会での男女混合リレーの銅メダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	上村 大輔 (ウエムラ ダイスケ)	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	和田 拓実、高橋 花菜、中島 未莉 長森 遥南、松津 秀太	種目・成績	ショートトラック 男女混合リレー / 3位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズのチーム帯同コーチとして、特にリレー種目の指導に携わり、同競技会での男女混合リレーの銅メダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	柏原 幹史 (カシワバラ ミキヒト)	資格名	スケートコーチ 4 マスター
指導選手名	黒川 輝衣	種目・成績	ショートトラック 女子3000mリレー / 6位
大会名	ISU世界ショートトラック選手権大会		
主な功績	ISU世界ショートトラック選手権大会女子3000mリレーで6位入賞した、菊地萌水選手を現在指導している。また、黒川輝衣選手の高校時代の指導に直接携わっており、当該選手の入賞に大きく貢献した。		
氏名	江口 雅之 (エグチ マサユキ)	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	黒川 輝衣	種目・成績	ショートトラック 女子3000mリレー / 6位
大会名	ISU世界ショートトラック選手権大会		
主な功績	ISU世界ショートトラック選手権大会女子3000mリレーで6位入賞した黒川輝衣選手の中学時代の指導に直接携わり、当該選手の入賞に大きく貢献した。		
氏名	村竹 崇行 (ムラタケ タカユキ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	岩佐 暖	種目・成績	ショートトラック 男子5000mリレー / 6位
大会名	ISU世界ショートトラック選手権大会		
主な功績	ISU世界ショートトラック選手権大会男子5000mリレーで5位入賞した岩佐暖選手の大学時代の指導に直接携わり、当該選手の入賞に大きく貢献した。		
氏名	石関 祐樹 (イシゼキ ユウキ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	林 康生、夏目 笑、三好 瑛久	種目・成績	ショートトラック 男子3000mリレー / 2位
大会名	ISU世界ジュニアショートトラック選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアショートトラック選手権大会のチーム帯同監督として、特にリレー種目の指導に大きく携わり、同競技会での男子3000mリレーでの銀メダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	杉尾 憲一 (スギオ ケンイチ)	資格名	スケートコーチ 4
指導選手名	林 康生、夏目 笑、三好 瑛久	種目・成績	ショートトラック 男子3000mリレー / 2位
大会名	ISU世界ジュニアショートトラック選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアショートトラック選手権大会のチーム帯同コーチとして、特にリレー種目の指導に大きく携わり、同競技会での男子3000mリレーでの銀メダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	夏目 ひとみ (ナツメ ヒトミ)	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	夏目 笑	種目・成績	ショートトラック 男子3000mリレー / 2位
大会名	ISU世界ジュニアショートトラック選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアショートトラック選手権大会男子3000mリレーで銀メダルを獲得した夏目笑選手の中学時代の指導に直接携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		

氏名	古屋 由布子 (コヤ ユウコ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	①三好 瑛久 ②長森 遥南	種目・成績	①ショートトラック 男子3000mリレー／2位 ②ショートトラック 男女混合リレー／3位
大会名	①ISU世界ジュニアショートトラック選手権大会 ②FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	ISU世界ジュニアショートトラック選手権大会男子3000mリレーで銀メダルを獲得した三好瑛久選手、FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ男女混合リレーで銅メダルを獲得した長森遥南選手の所属チームコーチとして直接指導し、当該選手たちのメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	宮永 芳明 (ミヤナガ ヨシアキ)	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	三好 瑛久	種目・成績	ショートトラック 男子3000mリレー／2位
大会名	ISU世界ジュニアショートトラック選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアショートトラック選手権大会男子3000mリレーで銀メダルを獲得した三好瑛久選手の中学時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	鈴木 信子 (スズキ ノブコ)	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	三好 瑛久	種目・成績	ショートトラック 男子3000mリレー／2位
大会名	ISU世界ジュニアショートトラック選手権大会		
主な功績	ISU世界ジュニアショートトラック選手権大会男子3000mリレーで銀メダルを獲得した三好瑛久選手の中学時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	古賀 あや (コガ アヤ)	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	高橋 花菜	種目・成績	ショートトラック 男女混合リレー／3位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ男女混合リレーで銅メダルを獲得した高橋花菜選手の中学・高校時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	平井 貴子 (ヒライ アツコ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	中島 未莉	種目・成績	ショートトラック 男女混合リレー／3位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ男女混合リレーで銅メダルを獲得した中島未莉選手の中学・高校時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	長森 淳 (ナガモリ アツシ)	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	長森 遥南	種目・成績	ショートトラック 男女混合リレー／3位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ男女混合リレーで銅メダルを獲得した長森遥南選手の中学時代から現在に至るまでの指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	松津 庸子 (マツヅ ヨウコ)	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	松津 秀太	種目・成績	ショートトラック 男女混合リレー／3位
大会名	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ		
主な功績	FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ男女混合リレーで銅メダルを獲得した松津秀太選手の高校時代までの指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	佐藤 紀子 (サトウ ノリコ)	資格名	スケート教師
指導選手名	三浦 佳生	種目・成績	フィギュアスケート 男子シングル／1位
大会名	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023		
主な功績	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023男子シングルで金メダルを獲得した、三浦佳生選手の中学・高校時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		

氏名	福井 信子 (フクイ ノブコ)	資格名	スケート教師
指導選手名	三浦 佳生	種目・成績	フィギュアスケート 男子シングル / 1位
大会名	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023		
主な功績	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023男子シングルで金メダルを獲得した、三浦佳生選手の中学・高校時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	岡島 功治 (オカジマ コウジ)	資格名	スケート教師
指導選手名	三浦 佳生	種目・成績	フィギュアスケート 男子シングル / 1位
大会名	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023		
主な功績	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023男子シングルで金メダルを獲得した、三浦佳生選手の中学・高校時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	都築 章一郎 (ツヅキ ショウイチロウ)	資格名	スケート教師 スケートコーチ 4
指導選手名	三浦 佳生	種目・成績	フィギュアスケート 男子シングル / 1位
大会名	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023		
主な功績	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023男子シングルで金メダルを獲得した、三浦佳生選手の中学時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	都築 奈加子 (ツヅキ ナカコ)	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	三浦 佳生	種目・成績	フィギュアスケート 男子シングル / 1位
大会名	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023		
主な功績	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023男子シングルで金メダルを獲得した、三浦佳生選手の中学時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	長光 歌子 (ナガミツ ウタコ)	資格名	スケート教師 スケートコーチ 4
指導選手名	吉岡 希	種目・成績	フィギュアスケート 男子シングル / 3位
大会名	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023		
主な功績	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023男子シングルで銅メダルを獲得した、吉岡希選手の中学・高校・大学時代の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		
氏名	濱田 美栄 (ハマダ ミエ)	資格名	スケート教師 スケートコーチ 4
指導選手名	島田 麻央	種目・成績	フィギュアスケート 女子シングル / 1位
大会名	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023		
主な功績	ISU世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会2023女子シングルで金メダルを獲得した、島田麻央選手の指導に携わり、当該選手のメダル獲得に大きく貢献した。		

推薦団体：公益財団法人 全日本柔道連盟

氏名	増地 克之 (マスチ カツユキ)	資格名	柔道コーチ 1
指導選手名	①角田 夏実、②阿部 詩、③堀川 恵		
大会名	2022年タシケント世界選手権大会	種目・成績	①柔道48kg級 / 1位 ②柔道52kg級 / 1位 ③柔道63kg級 / 1位
主な功績	2016年10月に全日本女子監督に就任し、日本代表の指導にあたり、2022年タシケント世界選手権大会において、優勝者を3名輩出し、現在に至るまで数多くの世界選手権ならびにオリンピック競技大会メダリストを輩出した。現在も日本代表監督として指導にあたり、第33回オリンピック競技大会(2024 / パリ)に向けて、更なる活躍が期待されるなど、その功績は誠に顕著である。		

推薦団体：公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

氏名	中具 次郎 (ナカガイ ジロウ)	資格名	スポーツクライミングコーチ4
指導選手名	西田 秀聖		
大会名	FISU世界大学スポーツクライミング選手権大会2022	種目・成績	スポーツクライミング競技 (リード種目) / 1位
主な功績	日本山岳・スポーツクライミング協会の強化委員会常任委員で日本代表コーチを務め、強化育成や普及に携わりその功績は誠に顕著である。また、大阪府山岳連盟理事で競技委員長を務め、競技運営・普及・指導にも携わり大阪府のみならず府県の境なくユースからシニア世代まで幅広く強化育成に尽力し、世界大会において活躍する選手を数多く輩出しており、この功績は顕著である。		

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。



UNIVAS



この活動は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています

【表彰の基準 第3号】 1名

受賞年度に満30歳以下の公認スポーツ指導者のうち、今後、当該団体において中心的な役割を担うことが期待される方。

推薦団体：公益社団法人 日本近代五種協会

氏名	山崎 真帆 (ヤマザキ マホ)	資格名	アスレティックトレーナー
指導選手名	①内田 美咲、②佐藤 大宗		
大会名	UIPM 2022 Pentathlon World Cup Final	種目・成績	①近代五種女子個人：4位／ 近代五種男女混合リレー：2位 ②近代五種男女混合リレー：2位
主な功績	日本近代五種協会に属し、2019年からナショナルチームの合宿、各種大会に帯同している。2023年度はナショナルスタッフとして活動中である。若手ながら選手・スタッフからの人望も厚く、積極的に日本近代五種協会における選手強化・育成の中心的存在となり活躍をしている。		

【表彰の基準 第5号】 2名

公認スポーツ指導者制度の確立及び発展などのために貢献し、顕著な功績があるとして当協会が特に認めた方。

推薦団体：公益財団法人 日本スポーツ協会

氏名	赤間 高雄 (アカマ タカオ)
資格名	スポーツドクター
主な功績	1995年度から永年にわたり、公認指導者養成講習会 (スポーツ医学)、公認アスレティックトレーナー養成講習会 (ドーピングコントロール)、公認スポーツドクター養成講習会 (スポーツと内科) の講師ならびにテキスト執筆者として、また日本スポーツ協会スポーツドクター部会委員としてスポーツドクターの育成に貢献しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	菊 幸一 (キク コウイチ)
主な功績	2002年度から永年にわたり、公認スポーツ指導者養成講習会講師 (スポーツ社会学・社会の中のスポーツ) とテキスト執筆者として、また公認スポーツ指導者向け各種研修会講師として指導者の育成に貢献しており、その功績は誠に顕著である。

次は私たちの時代 誓う、フェアプレイ



森山真稔 (26 歳 フライングディスク)



三木萌子 (21 歳 サッカー)



池田春子 (22 歳 水泳)



小山滉平 (20 歳 ローラースケート)



山内康輔 (21 歳 バレーボール)



中島理沙 (21 歳 なぎなた)

「フェアプレー」って、空気のように当たり前のようで、改めて考えてみると、わかっていないものかも…
そんなフェアプレーを、JSPPO (日本スポーツ協会) は考え続け、さまざまな取組を行っています。
日本の未来を担う若者がフェアプレーをとことん考える「フェアプレイ会議」もそのひとつ。
フェアプレーを考えている JSPPO も、スポーツを楽しむ皆さんにとっては
空気のような存在なのかもしれません。
それでも、JSPPO はあなたのスポーツを確かにサポートしています。
あなたのフェアプレイ宣言で、ともに望む未来へ。



WEB でフェアプレイ宣言募集中

フェアプレイ宣言

検索

2019.04 時点

SPORT
JSPO OFFICIAL LICENSE